第２期れんけいこうち広域都市圏ビジョン

2026（令和8）年 9月改訂

高　知　市

《　目　次　》

Ⅰ　ビジョンの概要 1
1　策定の趣旨 1
2　圏域の名称・構成市町村 2
（1）圏域の名称 2
（2）圏域の構成市町村 2
3　計画期間 2
Ⅱ　圏域の現状 3
1　構成市町村の概要 3
2　人口の動向 8
（1）人口の推移と見通し 8
（2）自然増減の動向 10
（3）社会増減と移住の状況 10
3　経済・産業の動向 13
（1）産業構造 13
（2）農林漁業 15
（3）製造業 17
（4）小売業 21
（5）観光 23
（6）産業支援機関等の状況 27
4　高次都市機能の状況 28
（1）行政機関 28
（2）医療機関 29
（3）広域的交通網 31
（4）高等教育機関 32
（5）文化・スポーツ等関連施設 33
5　生活関連機能の状況 37
（1）地域医療 37
（2）介護・障がい者福祉 37
（3）防災対策 40
Ⅲ　圏域の将来像と目標 42
1　圏域の特徴・強みと課題 42
2　圏域が目指す将来像 42
3　将来人口の目標 43
4　圏域づくりの基本方針 43
（1）圏域全体の経済成長のけん引 44

（２）高次の都市機能の集積・強化 44
（３）圏域全体の生活関連機能サービスの向上 45
５　成果指標（ＫＰＩ） 46
（１）圏域全体の経済成長のけん引 46
（２）高次の都市機能の集積・強化 46
（３）圏域全体の生活関連機能サービスの向上 46
６　ビジョンの推進体制 47
Ⅳ　将来像の実現に向けた具体的な取組 49

Ⅰ　ビジョンの概要

１　策定の趣旨

人口減少・少子高齢化社会にあっても、活力ある地域経済を維持し、住民が安心して快適な暮らしを営むことができる圏域づくりを目指し、2018（平成 30）年３月に、高知市は県内全市町村及び高知県のそれぞれと連携協約を締結し、国の連携中枢都市圏制度と高知県独自の市町村支援制度を併用した、高知県全域を圏域とする「れんけいこうち広域都市圏」を形成した。

同時に、「人口減少の大きな波に打ち克つことのできる圏域」を中長期的な将来像に掲げ、連携協約に基づき推進する「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」及び「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の３つの分野に関する具体的な取組等を定めた「れんけいこうち広域都市圏ビジョン」（以下「第１期ビジョン」という。）を策定した。

この第１期ビジョンの下、圏域市町村が緊密に連携することにより、スケールメリットやシナジー効果を発揮し、圏域市町村の共通課題に対する施策を効率的・効果的に進め、各市町村が持つ地域資源の有効活用などを通じて、地域経済の活性化や住民サービスの向上をはじめ、ノウハウ共有による業務の効率化などにおいても一定の成果を挙げることができた。

また、コロナ禍でヒトやモノの移動に制約がある中でも、共同イベントや職員研修等をオンライン化して開催するとともに、売上げ低迷や過剰在庫に苦しむ小規模事業者等への支援にスピード感を持って取り組むなど、これまでに培ってきた 34 市町村のつながりをフルに活用し、臨機応変に対応してきた。

しかし、圏域の人口減少・少子高齢化は今後も深刻化する見込みであり、市場規模の縮小や労働力の減少に伴う地域経済の衰退など、住民の安心で快適な暮らしを支える基盤の根幹を揺るがすことが懸念される状況であることから、引き続き、連携中枢都市である高知市がけん引役を果たし、圏域市町村が一丸となって、持続可能な圏域づくりを計画的に推進する必要がある。

このため、第１期ビジョンにおける取組の成果と課題や、コロナ危機がもたらした社会経済情勢の変化などを踏まえ、ウィズコロナ・アフターコロナ時代に対応した新たな圏域づくりの指針として、2023（令和５）年度を計画始期とする「第２期れんけいこうち広域都市圏ビジョン」（以下「第２期ビジョン」という。）を策定する。

２　圏域の名称・構成市町村

（1）圏域の名称

圏域の名称は、「れんけいこうち広域都市圏」とする。

（2）圏域の構成市町村

圏域を構成する市町村は、高知市、室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村、南国市、香南市、香美市、本山町、大豊町、土佐町、大川村、土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村、須崎市、中土佐町、梼原町、津野町、四万十町、宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町の 34 市町村である。

なお、連携中枢都市圏構想推進要綱に基づく連携中枢都市圏の構成市町村は、高知市、安芸市、安田町、馬路村、芸西村、南国市、香南市、香美市、本山町、大豊町、土佐町、大川村、土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村、須崎市、中土佐町、津野町の 21 市町村である。

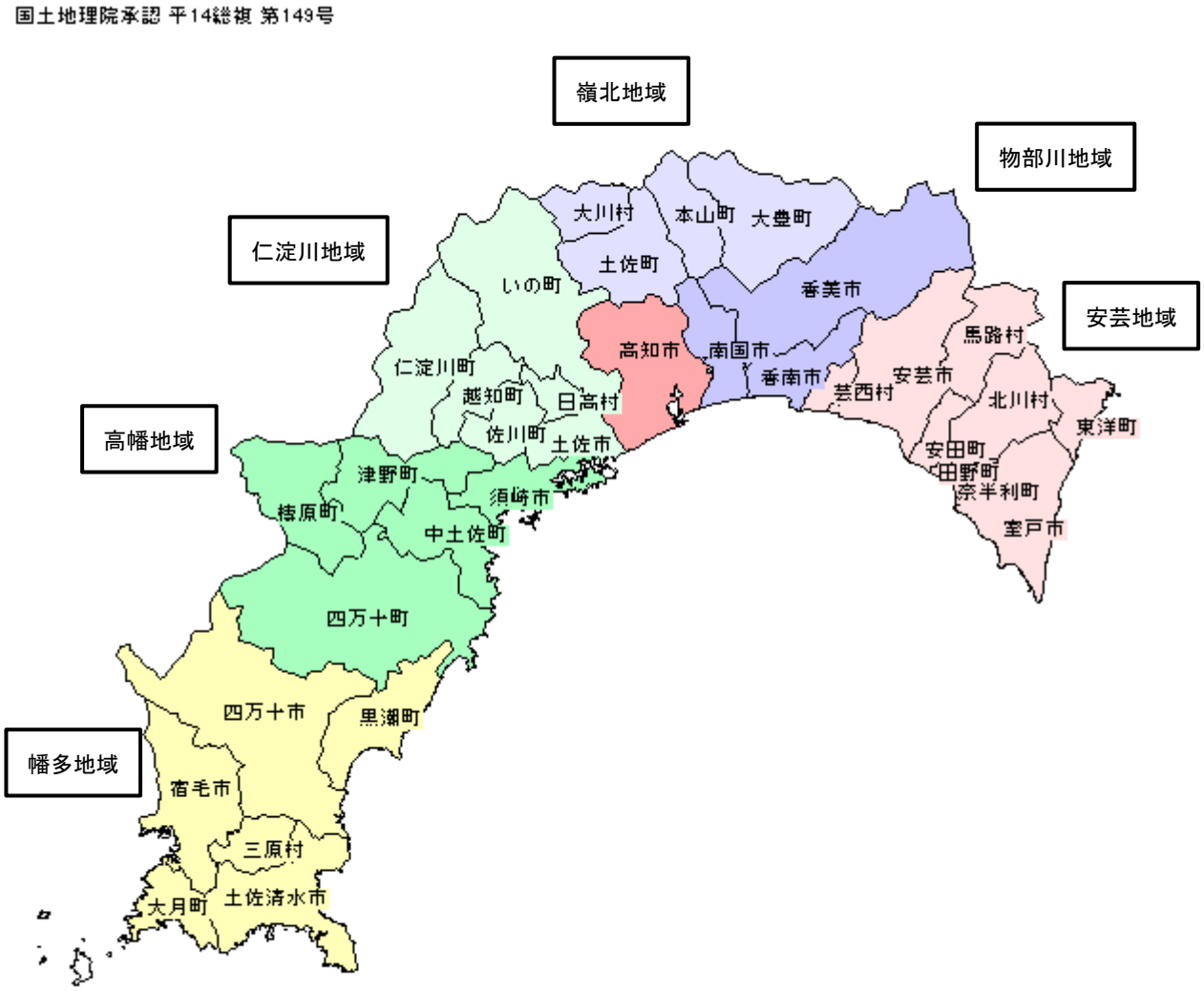
３　計画期間

計画期間は、2023（令和５）年度から 2027（令和９）年度までの５年間とする。

Ⅱ　圏域の現状

1　構成市町村の概要

図表Ⅱ-1　圏域市町村の位置



＜高知市＞

高知県の中央部に位置し、企業や商業施設のほか、大学等の高等教育機関が集積するとともに、県内屈指の施設園芸地域や緑豊かな中山間地域を有する都市である。また、桂浜やよさこい祭り、日曜市等の観光資源が豊富で県外から多くの人が訪れている。

＜安芸地域＞

室戸市	金目漁、定置網漁等の漁業や温暖な気候を利用したサツマイモ、早出のびわ、土佐備長炭の生産等の農林業が盛んで、地域資源を活用した海洋深層水が有名であるほか、室戸ユネスコ世界ジオパークなどは高知県を代表する観光地となっている。
安芸市	高知県東部最大の市街地を形成しており、産業としては、豊富な水、長い日照時間や温暖な気候を利用して、平地ではナスを中心とする施設園芸、中山間地域では柚子の生産等が盛んである。また、安芸沖はシラス漁が盛んであり、ちりめんじゃこの加工も行われている。
東洋町	高知県の最東端に位置しており、ポンカンや小夏などの柑橘栽培や漁業が主要産業である。また、全国的に有名な生見サーフィンビーチや清流野根川のアユ釣りなど、観光資源も豊富である。
奈半利町	農漁業を主要産業として、古くから高知県東部の交通の要衝として栄えてきた町であるとともに、海・山・川と三拍子そろった豊かな自然と、伝統的建造物で形成された町並みが残っており、自然と歴史が美しくミックスされている。
田野町	四国で一番小さい町でありながら、町の中心にはスーパーマーケットなどの商業施設、医療施設、図書館等の文化施設や公共施設が集約しており、コンパクトで住みやすい「暮らしやすさ」が自慢の町である。
安田町	町を南北に貫流する安田川流域に広がる清流の町で、蔬菜園芸（そさいえんげい）発祥の地としてハウス園芸が盛んなほか、清流の伏流水を生かした醸造業も盛んで、「土佐鶴酒造」、「南酒造場」の２蔵元が銘酒を醸している。
北川村	幕末の志士・中岡慎太郎が奨励した柚子栽培により、今では全国有数の産地となっている。また、フランスから世界で唯一名称の使用を認められた北川村「モネの庭」マルモッタンをはじめ、良質な北川村温泉、中岡慎太郎館といった芸術・文化的な観光資源が豊富である。
馬路村	人口約 800 人、「ごっくん馬路村」で有名な村であり、おなじみの柚子製品はもちろんのこと、世界で唯一の成形デザインによる杉のバッグ「monacca」を開発するなど、この地域ならではの「オンリーワンの村づくり」に取り組んでいる。
芸西村	温暖な気候に恵まれ、施設園芸によるナスやピーマン、花卉栽培が盛んであり、また、村の１次・２次産品を使った加工品の開発に向けた取組も行われている。令和７年度に完成した和食ダムは、高規格道路から近く、海が見えるダムとして全国でも珍しい。

＜物部川地域＞

南国市	高知龍馬空港や高知自動車道南国ＩＣを有するなど交通の要衝となっている。また、早場米や園芸野菜の産地として知られており、シシトウ、小ナス、ピーマンなどの生産が盛んである。
香南市	豊かな自然環境に恵まれ、農林水産業を中心に、商工業地域が加わった理想的なまちである。また、どろめ祭りやみなこい港祭り、手結盆踊りなど様々なイベントが開催されており、県内屈指の人気観光地として定着している。
香美市	物部川流域の豊かな自然に恵まれ、龍河洞、アンパンマンミュージアムやべふ峡などは多くの観光客に喜ばれている。また、市内にある高知工科大学と連携し、産学官の相互的な協力や交流が行われている。

＜嶺北（れいほく）地域＞

本山町	90％を森林が占める水と緑に恵まれた中山間地域であり、棚田でのブランド米「土佐天空の郷」が特産品であるほか、白髪山、吉野川、棚田等の資源を生かした自然体験、アウトドア体験に多くの人が訪れている。
大豊町	総面積の 88％が森林であることから、森林資源を活用し、安定した雇用の創出を目指した取組を進めている。また、碁石茶や銀不老（ぎんぶろう）といった町固有の特産品のほか、一級河川・吉野川でのラフティングも人気である。
土佐町	吉野川の源流域に位置し、「四国の水がめ」早明浦ダムがある水源の町。農林業が盛んで、棚田米と「土佐あかうし」の産地である。高知県唯一のＳＤＧｓ未来都市であり、教育や福祉の充実、さめうら湖でのカヌーやアクティビティの振興に取り組んでいる。
大川村	農畜林業等の第一次産業を基幹産業とした山村である。北部の四国山脈に通じる登山道は登山ファンからの人気が高く、また、特産品である大川黒牛・土佐はちきん地鶏を食すイベント「大川村謝肉祭」には、毎年多くの人が訪れている。

＜仁淀川地域＞

土佐市	仁淀川の河口部に位置しており、温暖な気候と豊かな自然の恩恵を受け、果物類・野菜類・花卉類の生産（栽培）などの農業のほか、仁淀川の豊かな水を活用した製紙工業や、沿岸漁業、水産物加工など、多彩な産業が成り立っている。
いの町	水質日本一の仁淀川や吉野川、また、石鎚国立公園に指定されている瓶ヶ森や寒風山をはじめとした山・川の豊かな自然に恵まれ、土佐和紙発祥の地として昔から製紙業が盛んである。

仁淀川町	農林業や鉱業が主要産業であり、また、神楽や秋葉祭り、太鼓踊り等の伝統文化や、桜や花桃等の観光資源も豊富である。清流仁淀川の源流として、仁淀ブルーを生かした観光を推進している。
佐川町	愛媛県方面への国道とＪＲ土讃線が通る交通の結節点に位置しており、江戸時代から続く酒蔵を中心とした町並みを残し、牧野富太郎博士など多くの偉人を輩出したことから「文教のまち」として知られている。
越知町	清流仁淀川が流れる中山間地域に位置し、町のシンボル横倉山は牧野富太郎博士ゆかりのさまざまな植物が自生しており、安徳天皇潜幸伝説があることでも知られている。また、町内にはキャンプ場や自然を楽しめる場所が多く存在しており、「アウトドアなまち」を宣言している。
日高村	２つのゴルフ場を有し、仁淀川での屋形船やサップなど自然を生かした体験型観光を推進している。特産品はシュガートマトや霧山茶に芋けんぴがあるほか、世界的に有名な土佐和紙の生産やオムライス街道など話題に事欠かない村となっている。

＜高幡（こうばん）地域＞

須崎市	国の重要港湾である須崎港を有するとともに、名物鍋焼きラーメンをはじめ、ミョウガやウツボなど特産品が豊富である。また、須崎市マスコットキャラクター「しんじょう君」のイベントなどでは全国から多くの人が訪れている。
中土佐町	黒潮踊る太平洋、清流四万十川、緑豊かな山野といった自然環境に恵まれた町で、国の重要文化的景観にも選定されている。また、土佐の一本釣り、大正町市場、沈下橋は全国的に有名で、県外からも多くの人が訪れている。
梼原町	愛媛県との県境に位置し、四国カルストに抱かれた山間の町で、「雲の上の町」とも呼ばれている。主要産業の農林業のほか、町内に５つある建築家の隈研吾氏が手掛けた建造物を生かした観光の取組を進めており、多くの人が訪れている。
津野町	日本最後の清流四万十川の源流点や日本三大カルストのひとつである四国カルスト天狗高原など観光資源が豊富で、津野山古式神楽や花取り踊りなどの伝統文化も息づいている。また、特産品のお茶を使った「満天の星大福」など６次産業化の取組を進めている。
四万十町	海・山・川の自然に囲まれた中山間地域の町で、特産品としてアユや栗焼酎がある。全国的にも有名な四万十川の中流域に位置し、夏場にはラフティングやカヌーなどの川遊びやキャンプが人気となっており、例年多くの観光客が訪れている。

＜幡多（はた）地域＞

宿毛市	黒潮の影響を強く受ける宿毛湾は豊かな漁場となっており、県内唯一の有人離島「沖の島」、「鵜来島」は、磯釣りやダイビングのメッカである。また、温暖な気候を生かした文旦や直七などの柑橘系果樹栽培が盛んである。
土佐清水市	足摺沖の好漁場と風光明媚な自然美を有することから漁業と観光のまちとして栄え、主要魚種のメジカを原料とする宗田節生産量は全国シェアの７割を占めている。また、足摺岬や竜串地域を中心に多くの観光客が訪れている。
四万十市	高知県の西南部「幡多地域」の中央部に位置し、古くから幡多の政治、経済、文化、交通の中心地として栄えてきた。四万十川に代表される豊かな自然や、土佐の小京都として育まれてきた歴史・文化に魅せられ、四季を通じて多くの観光客が訪れている。
大月町	温暖な気候風土に恵まれており、漁業と農業が盛んである。また、磯釣りやダイビングが楽しめる柏島をはじめ、足摺宇和海国立公園の自然美や海中景観など、観光面において全国から注目されている。
三原村	標高約 120m の高原盆地を形成する水と緑の豊かな村である。主要産業は農林業で、米やどぶろくが特産品であるほか、柚子の産地化にも取り組んでいる。
黒潮町	南国特有の温暖な気候で施設園芸や土佐カツオ一本釣り漁業が盛んである。また、長さ４km の美しい砂浜を活用した「Ｔシャツアート展」など、観光資源も豊富で県外からも多くの人が訪れている。

2　人口の動向

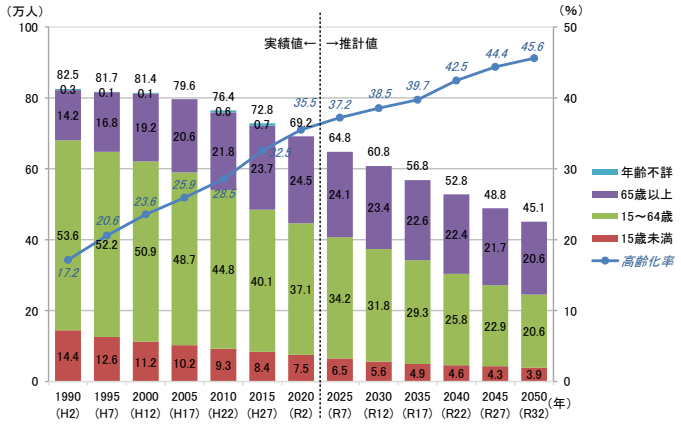
（1）人口の推移と見通し

圏域全体の総人口は今後も減少することが見込まれており、21 市町村で構成する連携中枢都市圏においても、概ね同水準で人口減少が進むことが推計されている。年齢区分別に見ると、年少人口と生産年齢人口は今後も減少を続け、これまで増加傾向にあった老年人口は 2025（令和７）年以降減少に転じるものの、高齢化率はその後も上昇し続けることが予想されている。

地域別では、いずれの地域においても 2015（平成 27）年に比べて人口減少が見られる。加えて、高知市に県内人口の約 47%が集中している状況にあるが、国立社会保障・人口問題研究所の 2023（令和５）年 12 月推計では、2050（令和 32）年には約 54%になることが見込まれており、一極集中がさらに進むと想定されている。

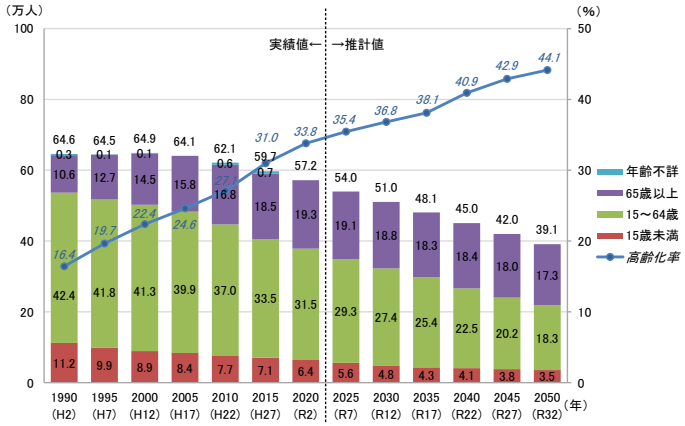
人口減少と高齢化の進行が著しい地域においても、住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、生活関連機能サービスの維持が求められるほか、経済活動の活性化、圏域内外での経済交流、それに伴う交流人口の増加等、地域振興につながる取組が必要である。

図表Ⅱ-2　年齢3区分別人口及び高齢化率の推移と見通し（れんけいこうち広域都市圏）



（資料）総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年 12 月推計）」

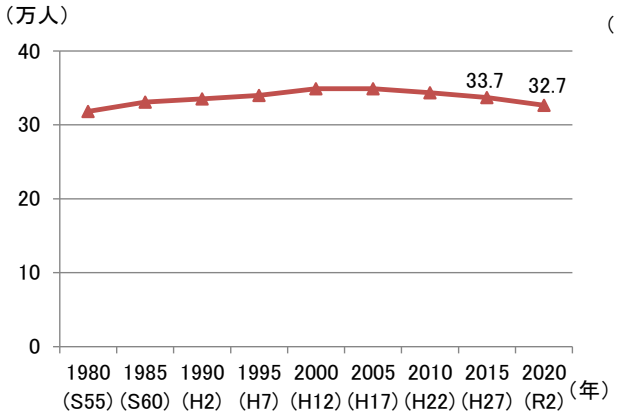
図表Ⅱ-3　年齢3区分別人口及び高齢化率の推移と見通し（連携中枢都市圏）



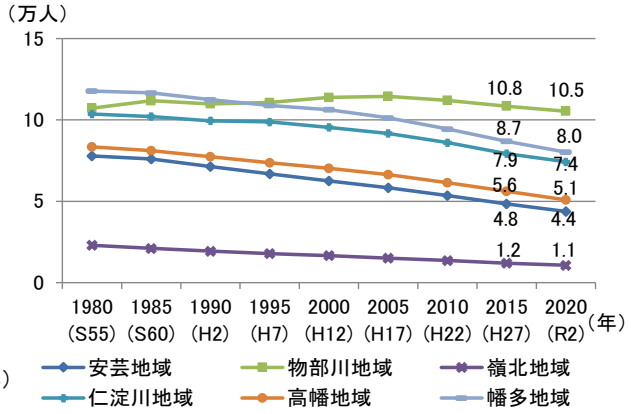
（資料）総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年 12 月推計）」

図表Ⅱ-4　地域別人口の推移

［高知市］

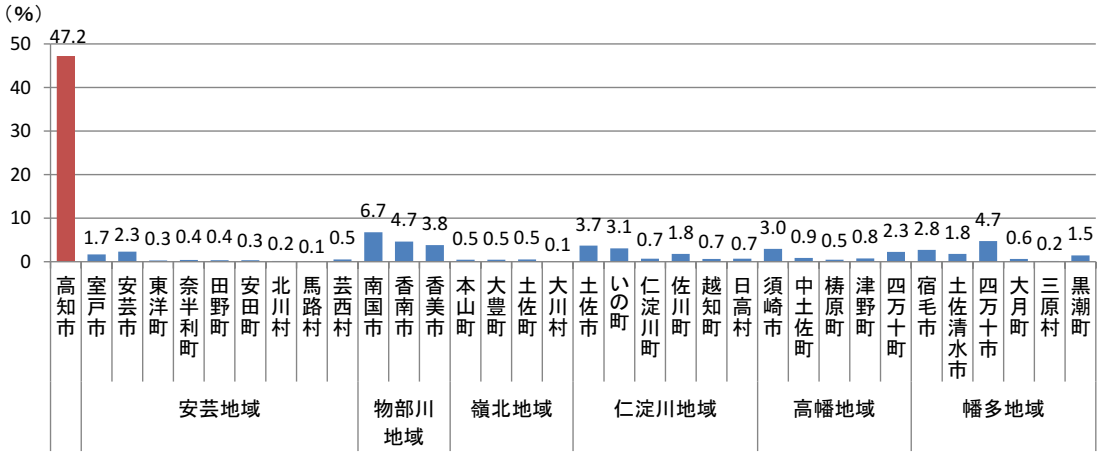


［高知市以外の地域］



（資料）総務省「国勢調査」

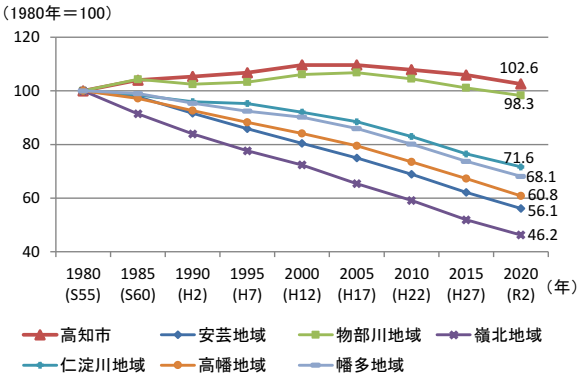
図表Ⅱ-5　県の総人口に占める市町村別の人口構成比（2020（令和2）年）



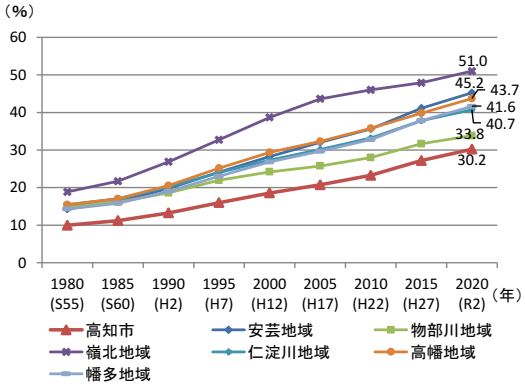
（資料）総務省「国勢調査」

図表Ⅱ-6　地域別人口（1980（昭和 55）年＝100）及び高齢化率の推移

［人口の推移（1980（昭和 55）年＝100）］



［高齢化率の推移］

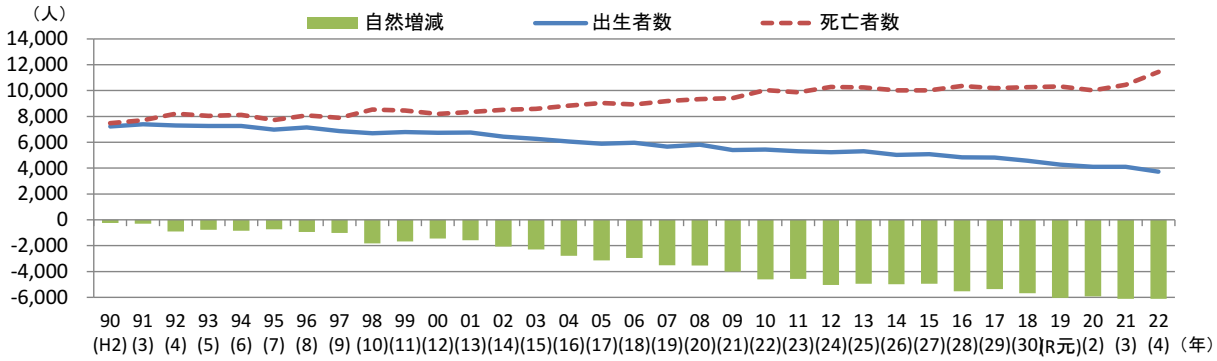


（資料）総務省「国勢調査」

（2）自然増減の動向

圏域の自然増減（出生者数・死亡者数）の動向をみると、1990（平成２）年以降一貫して自然減が続いており、特に 2022（令和４）年の出生者数が統計を取り始めて以降最も少なくなるとともに、その減少幅は拡大傾向にある。出生者数の増加は地域の活力維持につながるため、どの地域でも安心して出産・子育てができる環境づくりが求められる。

図表Ⅱ-7　自然増減の推移



（資料）国土地理協会「住民基本台帳　人口・世帯数表」

（3）社会増減と移住の状況

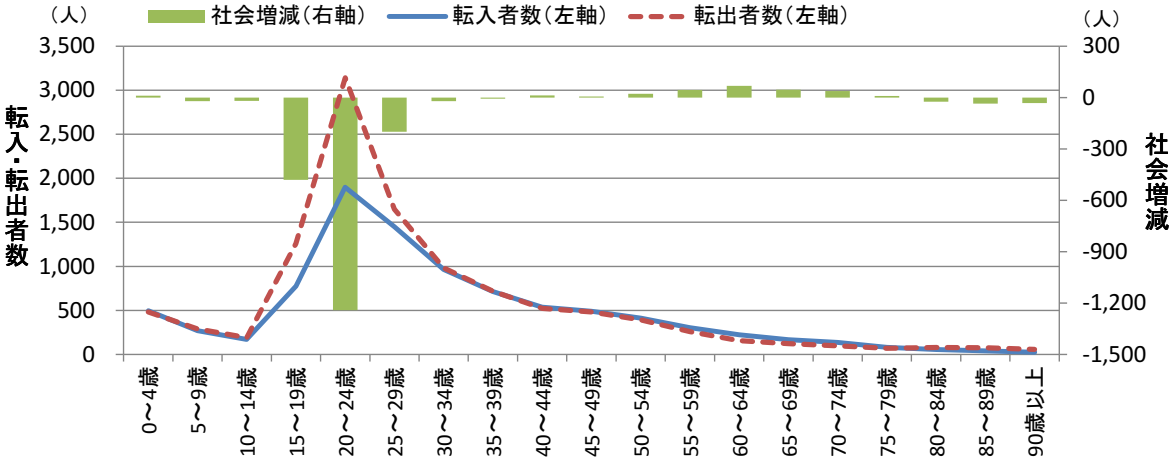
圏域における社会増減（転入者数・転出者数）の状況を年齢５歳階級別にみると、15～19 歳や 20～24 歳における社会減が著しく、多くの若者が進学や就職を機に圏域外に転出していることが推察される。

また、圏域内の地域別に、純移動の状況をみると、特に仁淀川地域、高幡地域、幡多地域から高知市に向けて人口が流入している一方で、高知市からは、これら圏域内他地域からの流入人口以上に圏域外へ人口が流出しており、特に東京圏と近畿地方への人口流出が大きい。

特に若い世代をはじめとする人口の流出に歯止めをかけるため、それぞれの地域での雇用の創出や生活利便性の維持・向上が求められるとともに、高知市には、圏域内他地域から流入した人口を圏域外に流出させないダム機能と、高知市から各地域に人口が移動するようなポンプ機能を備えることが求められる。

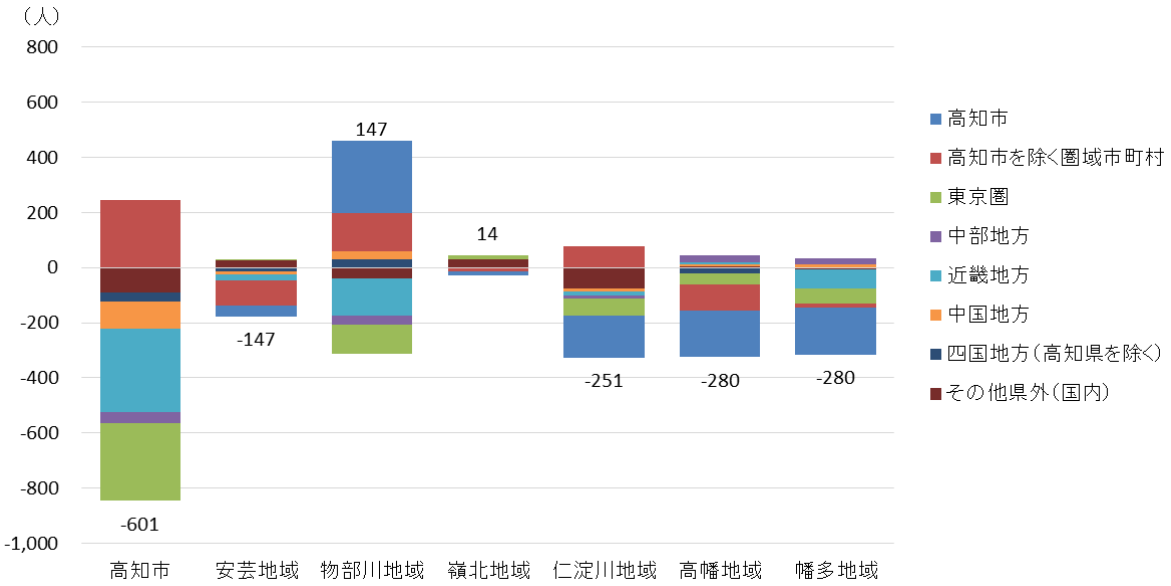
一方で、圏域外からの移住組数は 2013（平成 25）年度以降大きく伸びており、2020（令和２）年度は前年度を下回ったが、その他の年度では増加傾向にある。また、移住先は各地域に分散しており、中でも安芸地域及び幡多地域は多くの移住者を集めており、地域ごとの魅力が圏域外に伝わり、理解されていることがうかがえる。

図表Ⅱ-8　年齢5歳階級別の転出入の状況（2019（令和元）年～2023（令和5）年平均）



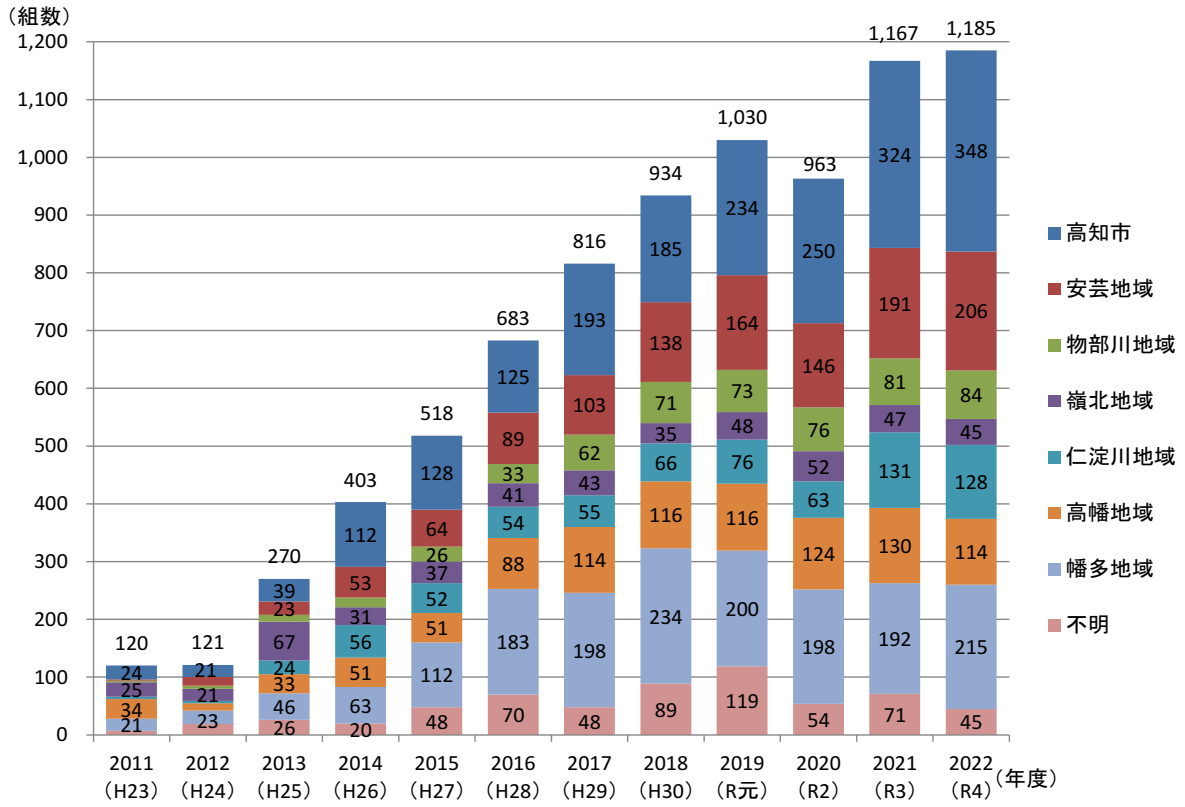
（資料）総務省「住民基本台帳人口移動報告」

図表Ⅱ-9　地域別純移動の状況（2022（令和4）年）



（資料）総務省「住民基本台帳人口移動報告」
（注1）東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
（注2）値ラベルは転入者合計から転出者合計を減じた値。

図表Ⅱ-10　移住組数の推移（地域別）



（資料）高知県資料より作成
（注）20 組未満は値ラベルの表示を省略している。

３　経済・産業の動向

（1）産業構造

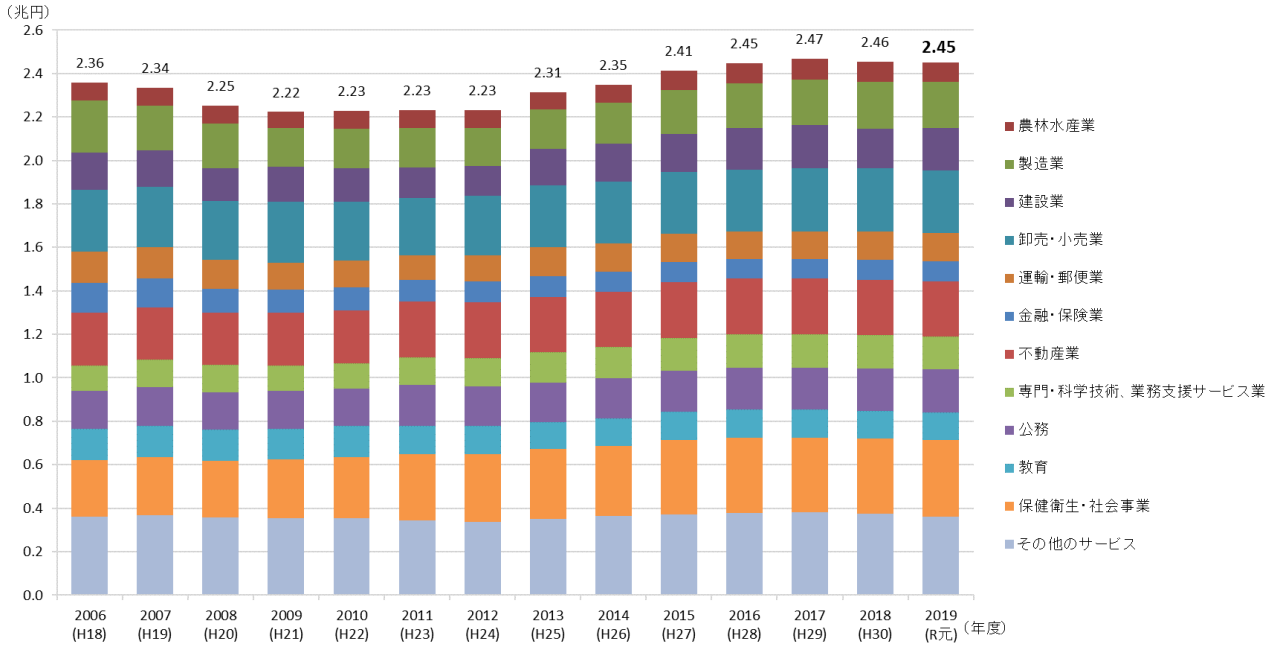
圏域における総生産は、2012（平成 24）年度まで減少傾向にあり、その後 2013（平成 25）年度以降は増加傾向に転じていたが、2020（令和２）年度に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの業種において落ち込んだ。

圏域の生産額における構成比が最も高い産業は保健衛生・社会事業であり、次いで卸売・小売業、不動産業が高く、いずれも総額の１割以上を占めている。それ以外では、製造業、建設業等の構成比が高い。

次に、2020（令和２）年における産業別の就業者数から産業構造をみると、全ての地域に共通して構成比が高い業種は、卸売業、小売業と医療、福祉である。また、高知市以外の地域では、農業の構成比も高く、特に安芸地域や嶺北地域、高幡地域では２割近くを占めている。さらに、物部川地域と仁淀川地域では製造業も高い水準となっている。

就業者数の推移をみると、2005（平成 17）年以降、いずれの地域でも減少しており、特に農業、卸売・小売業における減少が顕著である。

図表Ⅱ-11　経済活動別総生産の推移



（資料）高知県「令和2年度　市町村経済統計」
（注1）「輸入品に課される税・関税」及び「（控除）総資本形成に係る消費税」は含まない。
（注2）「鉱業」、「電気・ガス・水道・廃棄物処理業」、「宿泊・飲食サービス業」、「情報通信業」は「その他のサービス」にまとめている。
（注3）算定基準の改定に伴い、2011（平成 23）年度までは新基準で遡及算定されているが、それ以前の数値は旧基準に基づくため、数値に連続性はないが参考値として掲載している。

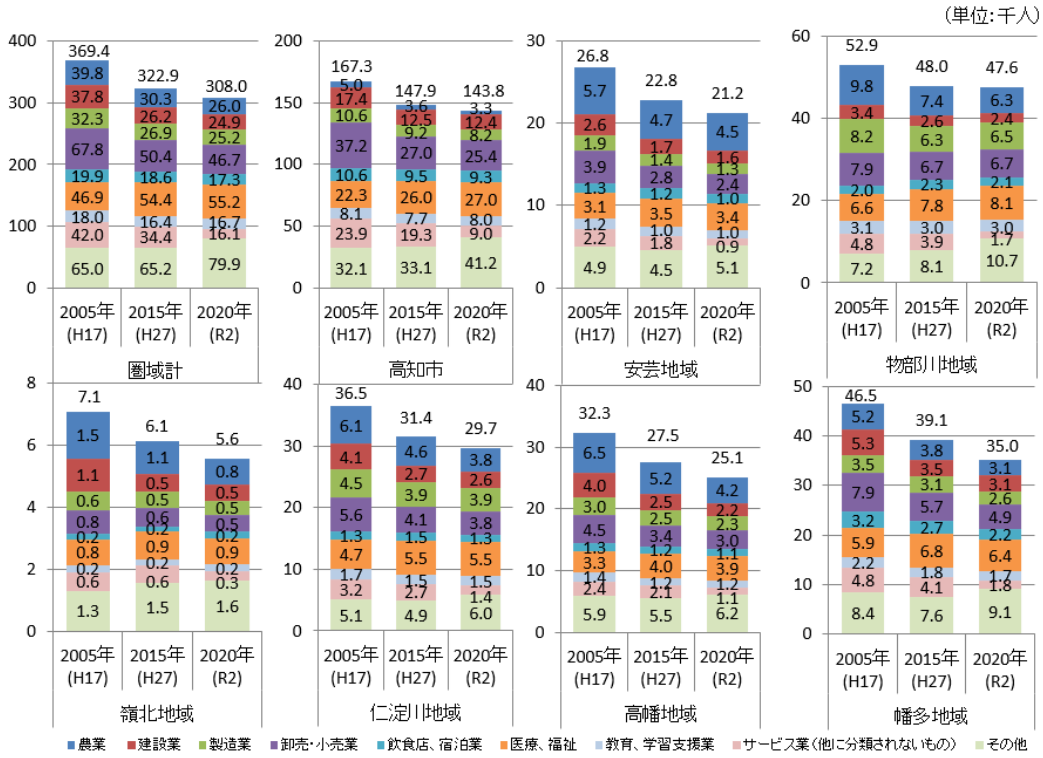
図表Ⅱ-12　産業別 15 歳以上就業者数の構成比（地域別・2020（令和2）年）

（単位：人）

産業	圏域計	高知市	安芸地域	物部川地域	嶺北地域	仁淀川地域	高幡地域	幡多地域
総数	308,049	143,773	21,227	47,620	5,578	29,713	25,089	35,049
農業	8.4%	2.3%	21.3%	13.2%	15.1%	12.9%	16.7%	8.8%
林業	0.8%	0.2%	1.4%	0.5%	9.7%	0.8%	1.9%	1.2%
漁業	1.0%	0.1%	3.8%	0.2%	0.1%	0.3%	2.2%	3.9%
鉱業、採石業、砂利採取業	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.5%	0.2%	0.0%
建設業	8.1%	8.6%	7.8%	5.1%	9.3%	8.9%	8.6%	8.9%
製造業	8.2%	5.7%	6.0%	13.7%	8.5%	13.0%	9.1%	7.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.5%	0.6%	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%	0.5%	0.5%
情報通信業	1.2%	2.0%	0.2%	0.9%	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%
運輸業、郵便業	3.5%	3.6%	2.5%	4.8%	2.5%	2.5%	3.5%	2.7%
卸売業、小売業	15.2%	17.6%	11.4%	14.0%	9.7%	12.6%	12.1%	14.1%
金融業、保険業	2.1%	3.1%	1.0%	1.0%	1.0%	1.2%	0.9%	1.8%
不動産業、物品賃貸業	1.3%	2.0%	0.3%	1.0%	0.2%	0.6%	0.4%	0.7%
学術研究、専門・技術サービス業	2.5%	3.5%	1.1%	2.0%	1.4%	1.7%	1.3%	2.0%
宿泊業、飲食サービス業	5.6%	6.5%	4.9%	4.5%	3.6%	4.3%	4.3%	6.4%
生活関連サービス業、娯楽業	3.3%	3.9%	2.7%	2.7%	2.8%	2.6%	2.4%	3.2%
教育、学習支援業	5.4%	5.6%	4.6%	6.4%	3.6%	5.2%	4.6%	5.0%
医療、福祉	17.9%	18.8%	16.0%	17.0%	15.5%	18.4%	15.7%	18.4%
複合サービス事業	1.6%	0.9%	2.7%	1.6%	3.0%	2.1%	2.8%	2.1%
サービス業（他に分類されないもの）	5.2%	6.2%	4.1%	3.6%	5.3%	4.7%	4.3%	5.2%
公務（他に分類されるものを除く）	5.1%	4.9%	6.4%	5.0%	7.0%	5.2%	5.5%	5.1%
分類不能の産業	3.1%	4.0%	1.4%	2.6%	1.2%	2.0%	2.7%	2.4%

（資料）総務省「国勢調査」
（注1）従業地による就業者数。
（注2）グレーの網掛けは就業者数の構成比が 10％以上の産業。

図表Ⅱ-13　主要産業別 15 歳以上就業者数の推移（地域別）



（資料）総務省「国勢調査」
（注1）従業地による就業者数。
（注2）2020（令和2）年の圏域計で構成比が5％以上のものを主要産業とし、それ以外の産業及び公務を「その他」としてまとめている。
（注3）産業分類が改定されているため、2005（平成 17）年の産業分類に合わせて、2015（平成 27）年及び 2020（令和2）年の産業分類は、一部を統合している。（以下同様）

図表Ⅱ-14　産業別15歳以上就業者数の増減（地域別・2015（平成27）年→2020（令和2）年）

（単位：人）

産業	圏域計	高知市	安芸地域	物部川地域	嶺北地域	仁淀川地域	高幡地域	幡多地域
総数	-14,826	-4,175	-1,539	-367	-564	-1,717	-2,446	-4,018
農業	-4,333	-295	-198	-1,074	-236	-796	-982	-752
林業	-537	-12	-75	21	-87	-9	-277	-98
漁業	-573	-21	-26	-27	-1	-39	-124	-335
鉱業、採石業、砂利採取業	-63	-4	2	-15	-2	-7	-38	1
建設業	-1,255	-129	-99	-119	-28	-99	-384	-397
製造業	-1,659	-948	-158	219	-50	-49	-194	-479
電気・ガス・熱供給・水道業	-110	-52	-11	-1	2	-10	1	-39
情報通信業	98	41	-2	4	10	33	0	12
運輸業、郵便業	-163	-287	-6	272	-9	-47	-20	-66
卸売業、小売業	-3,662	-1,668	-373	-26	-66	-398	-364	-767
金融業、保険業	-678	-397	-25	-116	-4	-3	-24	-109
不動産業、物品賃貸業	13	69	-22	32	1	-33	3	-37
学術研究、専門・技術サービス業	136	186	-8	87	-22	6	-24	-89
宿泊業、飲食サービス業	-1,358	-200	-189	-194	20	-188	-138	-469
生活関連サービス業、娯楽業	-885	-200	-139	-114	-29	-107	-59	-237
教育、学習支援業	280	318	-67	49	10	51	-18	-63
医療、福祉	784	1,005	-108	312	-45	-8	-35	-337
複合サービス事業	-375	188	-121	-81	-51	-109	-72	-129
サービス業（他に分類されないもの）	339	223	54	50	14	104	-12	-94
公務（他に分類されるものを除く）	338	100	92	148	-27	-59	65	19
分類不能の産業	-1,163	-2,092	-60	206	36	50	250	447

（資料）総務省「国勢調査」
（注）従業地による就業者数。

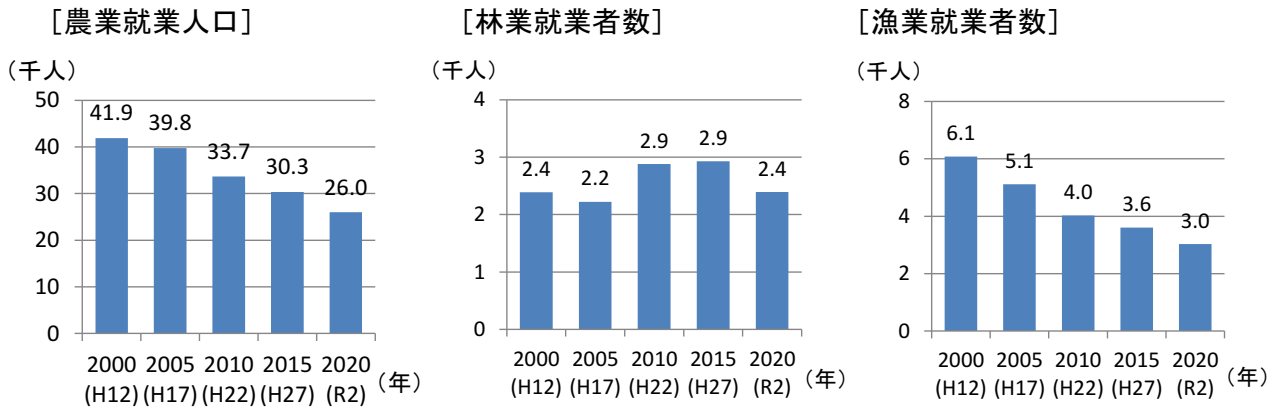
（2）農林漁業

就業者数の構成比が高い農業における就業人口は、2000（平成12）年から2020（令和２）年の20年間で、約１万６千人減少している。また、漁業についても同様で、約３千人減少しており、農業、漁業については、担い手の確保が喫緊の課題である。

一方、林業における就業人口は、近年増加傾向であったが直近では減少に転じており、林業においても担い手の確保が求められている。

圏域における主な１次産業産品には、ナスやしょうがをはじめとする野菜や、文旦、柚子等の柑橘類のほか、杉、桧等の林産品、カツオ、金目鯛等の水産品がある。

図表Ⅱ-15　農林漁業就業者数の推移



（資料）総務省「国勢調査」
（注）従業地による就業者数。

図表Ⅱ-16　圏域における主な1次産業産品

地域	市町村	1次産業産品
高知市	高知市	グロリオサ、きゅうり、トマト、新高梨、しょうが
安芸	室戸市	金目鯛、ナス、びわ、ナガレコ、サツマイモ
	安芸市	ナス、柚子、シラス、土佐ジロー、入河内大根
	東洋町	トマト、ナス、マグロ、アユ、ポンカン
	奈半利町	いちじく、スイカ、金目鯛、ゆず豚、米ヶ岡鶏
	田野町	オクラ、米、土佐和牛（肉）、ナス、ミョウガ
	安田町	アユ、ナス、柚子、オクラ、自然薯
	北川村	柚子、ナス、ミョウガ、オクラ、鹿（肉）
	馬路村	柚子、魚梁瀬杉、桧、アユ、米
	芸西村	ナス、ピーマン、ブルースター、トルコギキョウ、土佐鴨
物部川	南国市	米、しょうが、シシトウ、軍鶏、四方竹
	香南市	シイラ、どろめ、ニラ、みかん、メロン
	香美市	ニラ、やっこねぎ、柚子、青ねぎ、オクラ
嶺北	本山町	米（土佐天空の郷）、パプリカ、彩どりピーマン、土佐あかうし（肉）、米ナス
	大豊町	米、柚子、猪・鹿（肉）、銀不老、ぜんまい
	土佐町	米、米ナス、ゆり、杉、土佐あかうし（肉）
	大川村	土佐はちきん地鶏、大川黒牛、ほうれん草、カラーピーマン、花卉（ゆり）
仁淀川	土佐市	土佐文旦、ピーマン、メロン、ゆり、しょうが
	いの町	しょうが、白芽芋、マンゴー、柚子、きゅうり
	仁淀川町	茶、トマト、杉、桧、文旦
	佐川町	イチゴ、新高梨、牛乳（ぢちち）、ニラ、茶
	越知町	山椒、しょうが、文旦、アユ、土佐和牛(肉)
	日高村	トマト、しょうが、米、茶、オクラ
高幡	須崎市	ミョウガ、きゅうり、ポンカン、カンパチ、マルソウダ（メジカ）
	中土佐町	かつお、マルソウダ（メジカ）、米、七面鳥（肉）、桧
	梼原町	米ナス、ミョウガ、甘長トウガラシ、原木しいたけ、土佐和牛（肉）
	津野町	しょうが、茶、ミョウガ、シシトウ、米ナス
	四万十町	米、しょうが、桧、アユ、豚（肉）
幡多	宿毛市	直七（香酸柑橘）、文旦、イチゴ、きびなご、ぶり（養殖）
	土佐清水市	マルソウダ（メジカ）、清水サバ、土佐極鶏あしずりキング、あしずり黒潮米、きゅうり
	四万十市	ぶしゅかん、しまんと農法米、栗、アユ、桧
	大月町	イチゴ、ナス、シシトウ、クロマグロ（養殖）、ぶり
	三原村	米、トマト、柚子、茶、桧
	黒潮町	カツオ、きゅうり、ニラ、ミョウガ、しめじ

(3)製造業

2020（令和２）年における製造業の業種別の従業者数構成比をみると、圏域全体では食料品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、生産用機械器具製造業における構成比が高く、特に食料品製造業は全ての地域で高い割合を占めている。

地域別にみると、高幡地域は窯業・土石製品製造業の構成比が高く、物部川地域では生産用機械器具製造業が２割以上、仁淀川地域ではパルプ・紙・紙加工品製造業が４割以上を占めている。また、嶺北地域と高幡地域では、木材・木製品製造業と窯業・土石製品製造業の構成比が高い。

圏域における主な２次産業産品には、農水産物を活用した加工食品や、皿鉢料理、田舎寿司等の郷土料理のほか、和紙、紙加工品、打刃物、木製品・木工品等の地場産業産品、室戸海洋深層水等がある。

圏域の製造品出荷額等は、2009（平成 21）年に一度大きく落ちこみ、2011（平成 23）年以降徐々に回復傾向にあったが、2020（令和２）年に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、繊維工業を除く全ての業種において落ち込んだ。また、電気機械器具製造業の縮小が顕著である一方で、機械器具製造業は増加傾向にあり、従業者数の増減もこれに比例している。

多くの地域で一定の集積があり、製造品出荷額等の規模も比較的大きい食料品製造業は、圏域内で一定の従業者規模をもつ農業とつながりが強いため、地産地消はもちろんのこと、６次産業化やブランド化により外貨を獲得できる産業に育成することが求められる。

また、食料品以外で圏域の強みや特徴となり得るパルプ・紙・紙加工品製造業や、機械器具製造業についても、地域経済をけん引する産業として規模の維持・拡大を図ることが求められる。

図表Ⅱ-17　製造業の業種別従業者数の構成比（地域別・2020（令和2）年）

（単位：人）

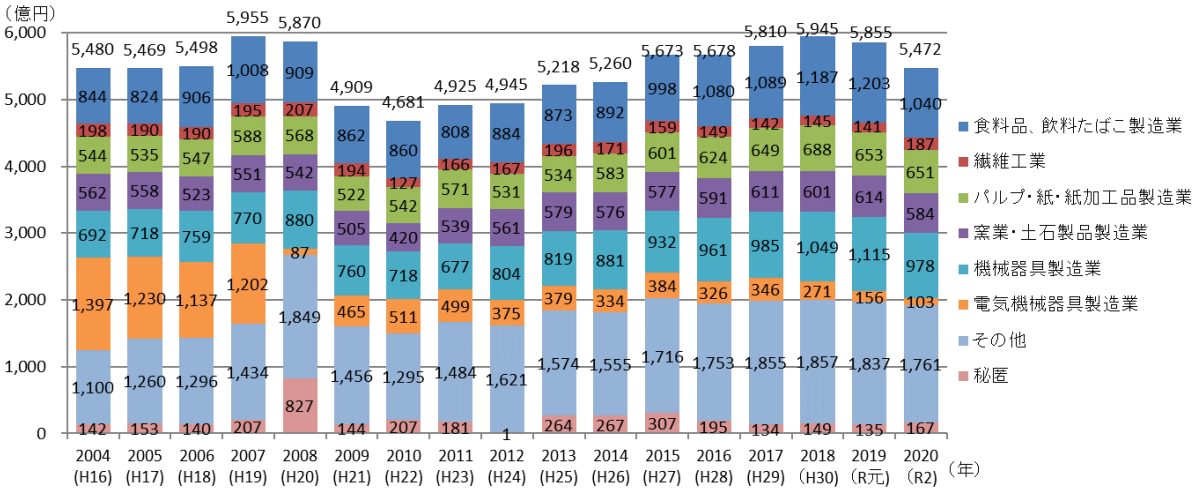
業種		圏域計	高知市	安芸地域	物部川地域	嶺北地域	仁淀川地域	高幡地域	幡多地域
総数		23,127	6,704	1,139	6,727	444	3,833	2,005	2,275
	食料品製造業	22.1%	29.5%	16.1%	16.0%	12.4%	15.3%	16.9%	39.6%
	飲料・たばこ・飼料製造業	2.7%	1.1%	24.1%	0.3%	4.5%	3.0%	4.8%	1.1%
	繊維工業	5.2%	1.8%	6.5%	4.3%	29.7%	8.1%	2.2%	10.3%
	木材・木製品製造業（家具を除く）	3.7%	1.8%	4.3%	0.6%	34.5%	4.1%	14.3%	2.5%
	家具・装備品製造業	1.0%	1.2%	0.0%	1.2%	0.0%	0.1%	0.7%	2.3%
	パルプ・紙・紙加工品製造業	11.0%	4.3%	6.4%	8.4%	0.0%	42.0%	0.0%	0.0%
	印刷・同関連業	3.0%	6.8%	0.0%	1.7%	1.1%	2.0%	0.2%	1.7%
	化学工業	1.6%	2.2%	5.1%	0.5%	0.0%	1.2%	0.4%	3.2%
	石油製品・石炭製品製造業	0.2%	0.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%
	プラスチック製品製造業（別掲を除く）	3.1%	2.4%	0.0%	5.6%	0.0%	1.5%	1.0%	4.0%
	なめし革・同製品・毛皮製造業	0.4%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	窯業・土石製品製造業	6.1%	3.8%	8.6%	3.2%	10.1%	5.9%	19.5%	8.3%
	鉄鋼業	3.8%	8.4%	9.6%	2.9%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%
	非鉄金属製造業	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.8%	0.0%
	金属製品製造業	4.5%	5.1%	1.4%	6.0%	4.1%	3.3%	3.8%	3.3%
	はん用機械器具製造業	3.4%	5.7%	2.6%	5.2%	3.6%	0.3%	0.0%	0.0%
	生産用機械器具製造業	11.9%	10.5%	7.7%	21.0%	0.0%	3.5%	11.7%	7.7%
	業務用機械器具製造業	2.5%	2.2%	0.0%	3.2%	0.0%	2.4%	5.3%	0.3%
	電子部品・デバイス・電子回路製造業	2.3%	1.0%	0.0%	4.2%	0.0%	3.3%	0.0%	2.2%
	電気機械器具製造業	3.0%	2.1%	0.0%	2.2%	0.0%	3.2%	2.3%	9.9%
	輸送用機械器具製造業	3.3%	6.1%	3.2%	4.0%	0.0%	0.0%	1.1%	1.2%
	その他の製造業	4.4%	3.6%	4.4%	8.0%	0.0%	0.6%	6.0%	2.2%

（資料）経済産業省「経済センサス-活動調査」
（注）グレーの網掛けは従業者数の構成比が 10%以上の産業。

図表Ⅱ-18 圏域における主な2次産業産品

地域	市町村	2次産業産品
高知市	高知市	皿鉢料理、石灰石、紙加工品、宝石珊瑚、油圧機械
安芸	室戸市	室戸海洋深層水、土佐備長炭、塩干品、水産練製品、鍛造品
	安芸市	芋ケンピ、ちりめんじゃこ、陶芸品、土佐瓦、土佐の清酒
	東洋町	こけら寿司
	奈半利町	どぶろく、いちじくジャム、ゆず豚ソーセージ、カツオのたたき、奈半利味噌
	田野町	アイスクリン、土佐の清酒、天日塩、田舎寿司、土佐の果実酒
	安田町	土佐の清酒、土佐の焼酎、土佐の名水、田舎寿司、天日塩
	北川村	柚子加工飲食料品、田舎寿司、かんばもち(芋の餅)
	馬路村	柚子加工飲食料品、木製品、木工品、化粧品
	芸西村	白玉糖(黒砂糖)、土佐の清酒(しらぎく)、黒砂糖加工品、あかうしハンバーグ
物部川	南国市	農器具部品、猟銃、電子部品、土佐打刃物、ちりめんじゃこ
	香南市	ちりめんじゃこ、水産練製品、土佐の清酒(豊能梅)・ワイン、工作機械、鋳造品・鋳鋼品
	香美市	土佐打刃物、土佐山田フラフ・のぼり、木工品、土佐瓦、猟銃部品
嶺北	本山町	木レース等の木工製品、柚子加工品、しそ加工品、米焼酎、農産加工品
	大豊町	碁石茶、柚子飲料、どぶろく、製材製品、柚子製品
	土佐町	土佐の清酒(桂月)、米粉・米粉加工品、木工品、柚子加工品、ワイン
	大川村	木材加工品(家具等)
仁淀川	土佐市	土佐和紙、紙製品、土佐の地酒、ウツボのたたき、鰹節
	いの町	土佐和紙、紙製品、きじ加工品、氷菓
	仁淀川町	石灰石、土佐和紙、木工品、竹炭
	佐川町	土佐の清酒(司牡丹(つかさぼたん))、デジタルによるものづくり、土佐瓦、山椒餅、アイスクリン
	越知町	芋ケンピ、柚子飲料
	日高村	機械抄き紙、紙加工品、芋ケンピ、トマト加工品、オムライス
高幡	須崎市	鍋焼きラーメン、石灰石、土佐打刃物、竹加工品、木工品
	中土佐町	かつおのタタキ、土佐の清酒・濁酒、土佐の名水、ところてん、精密機械器具
	梼原町	皿鉢料理、木質ペレット、猟銃部品、ジビエ加工品
	津野町	田舎寿司、茶製品(菓子等)、精密機械器具
	四万十町	田舎寿司、豚肉加工品、集成材、土佐の焼酎、栗加工品
幡多	宿毛市	宝石珊瑚、木質ペレット、土佐の焼酎、水産加工品、直七加工品
	土佐清水市	宗田節、姫カツオ、焼きサバ寿司、塩干品
	四万十市	ぶしゅかん加工品、水産加工品、製材製品、皿鉢料理、畜産加工品
	大月町	塩干品、海藻加工品、水産練製品、土佐備長炭、宝石珊瑚
	三原村	皿鉢料理、トマト加工品、柚子加工品、土佐硯、どぶろく
	黒潮町	天日塩、黒砂糖、ジーンズ、カツオのたたき、和紙の手漉き製紙

図表Ⅱ-19　製造業の業種別製造品出荷額等の推移



（資料）高知県「工業統計調査」、経済産業省「経済センサス-活動調査」
（注1）産業分類が改定されているため、2004（平成 16）年の産業分類に合わせて産業分類を一部統合している。
（注2）秘匿業種があるため、総計から公表業種の値を減じたものを「秘匿」として表示している。
（注3）2008（平成 20）年のみ、「電気機械器具製造業」に含まれる「電子部品・デバイス・電子回路製造業」の値が秘匿されている。

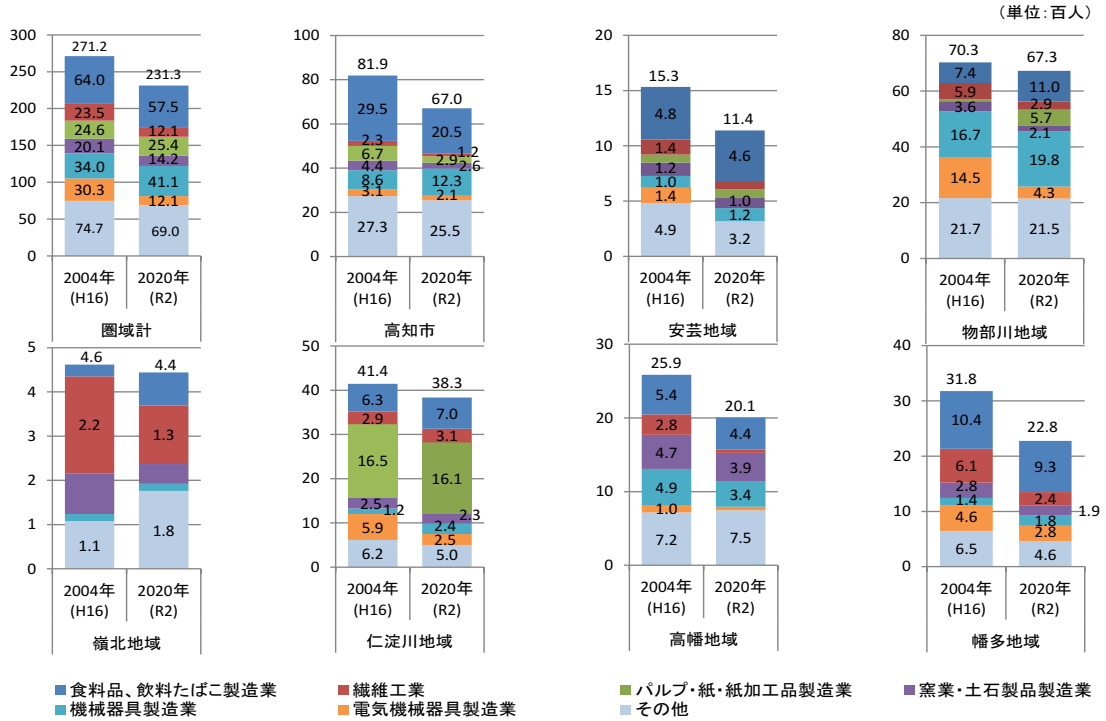
図表Ⅱ-20　製造業の業種別従業者数の増減数（地域別・2004（平成 16）年→2020（令和2）年）

（単位：人）

業種		圏域計	高知市	安芸地域	物部川地域	嶺北地域	仁淀川地域	高幡地域	幡多地域
総数		−3,992	−1,483	−394	−304	−18	−310	−580	−903
	食料品、飲料たばこ製造業	−650	−898	−17	360	48	76	−103	−116
	繊維工業	−1,143	−111	−64	−297	−87	25	−230	−379
	木材・木製品製造業	−582	−49	−141	−133	52	−68	−126	−117
	家具・装備品製造業	−173	−48	−9	−77	0	−23	−16	0
	パルプ・紙・紙加工品製造業	82	−379	2	501	0	−42	0	0
	印刷・同関連業	−362	−206	−14	4	−2	−69	−58	−17
	化学工業	84	23	−28	25	0	38	8	18
	石油製品・石炭製品	21	12	0	4	0	0	0	5
	プラスチック製品製造業	77	−21	0	24	0	42	−17	49
	なめし革・同製品・毛皮製造業	26	−7	0	87	0	−12	−24	−18
	窯業・土石製品製造業	−589	−182	−24	−145	−47	−28	−74	−89
	鉄鋼業	174	−22	35	154	0	−5	12	0
	非鉄金属製造業	104	0	0	−61	0	0	176	−11
	金属製品製造業	66	−4	−5	94	18	−2	67	−102
	機械器具製造業	708	372	15	313	0	113	−150	45
	電気機械器具製造業	−1,825	−101	−137	−1,016	0	−338	−53	−180
	輸送用機械器具製造業	8	95	14	−108	0	−9	6	10
	その他の製造業	−18	43	−21	−33	0	−8	2	−1

（資料）高知県「工業統計調査」、経済産業省「経済センサス-活動調査」
（注）産業分類が改定されているため、2004（平成 16）年の産業分類に合わせて、2020（令和2）年の産業分類を一部統合したうえで増減を算定している。

図表Ⅱ-21　製造業の主要業種別従業者数の変化（地域別）



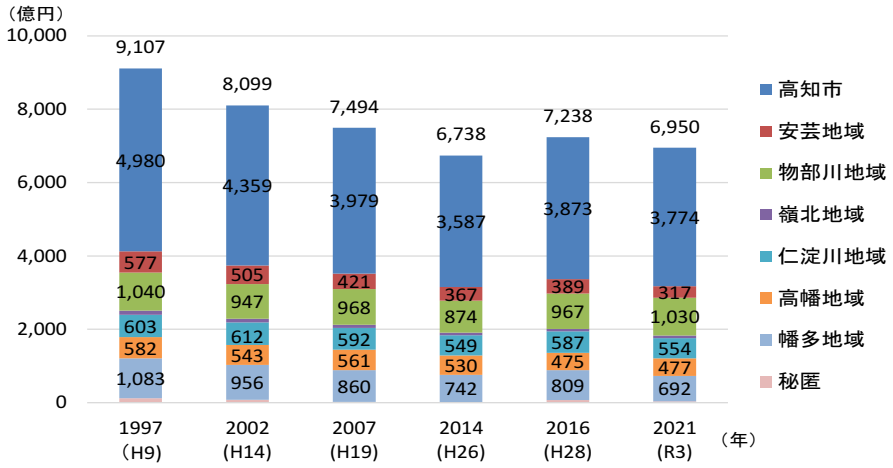
（資料）高知県「工業統計調査」、経済産業省「経済センサス-活動調査」
（注1）産業分類が改定されているため、2004（平成 16）年の産業分類に合わせて、2020（令和2）年の産業分類を一部統合している。
（注2）2020（令和2）年の圏域計で構成比が5％以上の業種を主要業種とし、それ以外の業種を「その他」としてまとめている。
（注3）100 人未満は値ラベルの表示を省略している。

（4）小売業

小売業の売場面積は 2007（平成 19）年以降全ての地域で減少傾向にあったが、2021（令和３）年、高幡地域を除き、増加に転じた。また、年間商品販売額は 1997（平成９）年以降減少していたものの、2014（平成 26）年以降は横ばい傾向となっている。

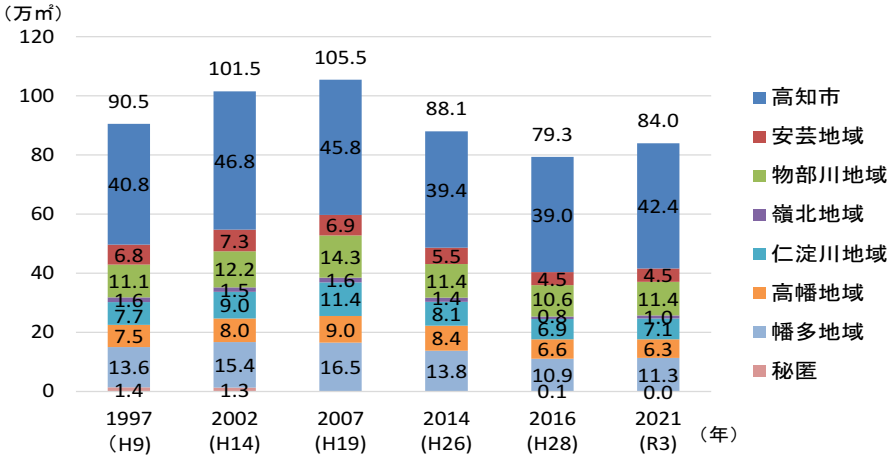
店舗数の減少は、地域住民の利便性の低下につながるおそれがあることから、生活に欠かせない小売業を維持するとともに、ＥＣ市場の拡大も踏まえ、デジタルの恩恵を多くの住民が享受できる環境を整備することが求められる。

図表Ⅱ-22　地域別小売業の年間商品販売額の推移



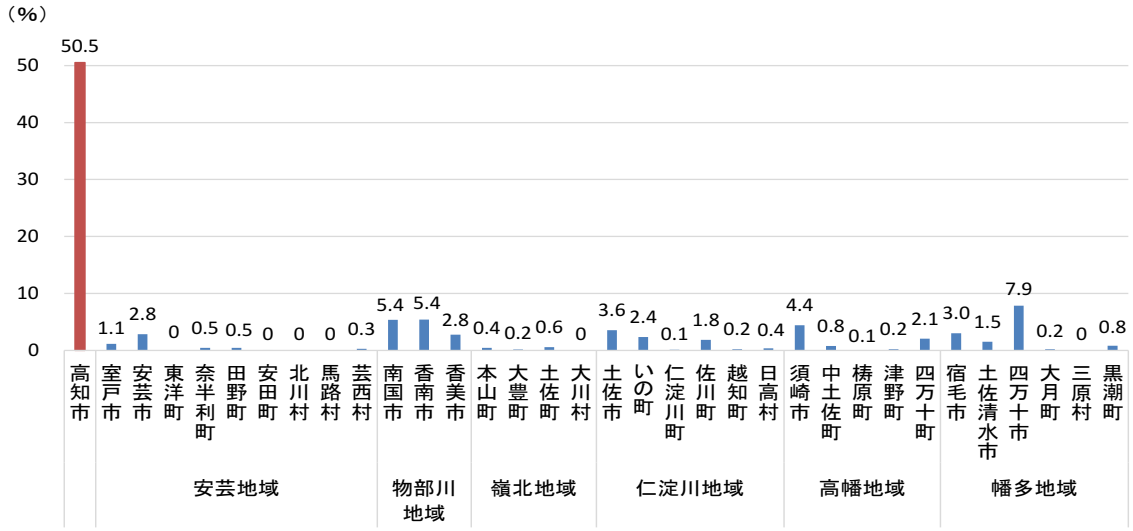
（資料）経済産業省「商業統計」、「経済センサス-活動調査」
（注1）秘匿市町村があるため、総計から公表市町村の値を減じたものを「秘匿」として表示している。
（注2）300 億円未満は値ラベルの表示を省略している。

図表Ⅱ-23　地域別小売業の売場面積の推移



（資料）経済産業省「商業統計」、「経済センサス-活動調査」
（注）秘匿市町村があるため、総計から公表市町村の値を減じたものを「秘匿」として表示している。

図表Ⅱ-24　圏域全体の売場面積に占める市町村別売場面積の構成比（2021（令和3）年）



（資料）経済産業省「経済センサス-活動調査」
（注）「0」表示の町村には、秘匿を含む。

図表Ⅱ-25　主な大型商業施設（店舗面積 5、000 ㎡以上）

所在地	店舗名	売場面積（㎡）
高知市	イオンモール高知（イオンスタイル高知）	44、464
	高知大丸本館・東館	14、613
	フジグラン高知	14、360
	イオン高知旭町店	13、217
	高知パワーセンター（スポーツデポ高知店）	11、015
	フジグラン葛島	10、868
	Shimadaya HOME&LIFE 高知店	7、267
	家電住まいる館 YAMADA 高知本店	6、988
	コンピュータウンこうち、ちより街テラス	5、585
	DCM 御座店	5、570
	ニトリ高知店	5、317
	ニトリ高知土佐道路店	5、132
南国市	マルナカ南国店	6、147
	サニーアクシス南国店	5、883
香南市	フジグラン野市	11、435
土佐市	Shimadaya HOME&LIFE 土佐店	6、065
いの町	サニーアクシスいの店	8、110
須崎市	マルナカ須崎店	8、002
	フジ須崎店	5、874
四万十市	フジグラン四万十	10、491
	マルナカ四万十店	8、127
	サニータウン四万十（サニーマート四万十店）	7、600

（資料）東洋経済新報社「全国大型小売店総覧 2024」

（5）観光

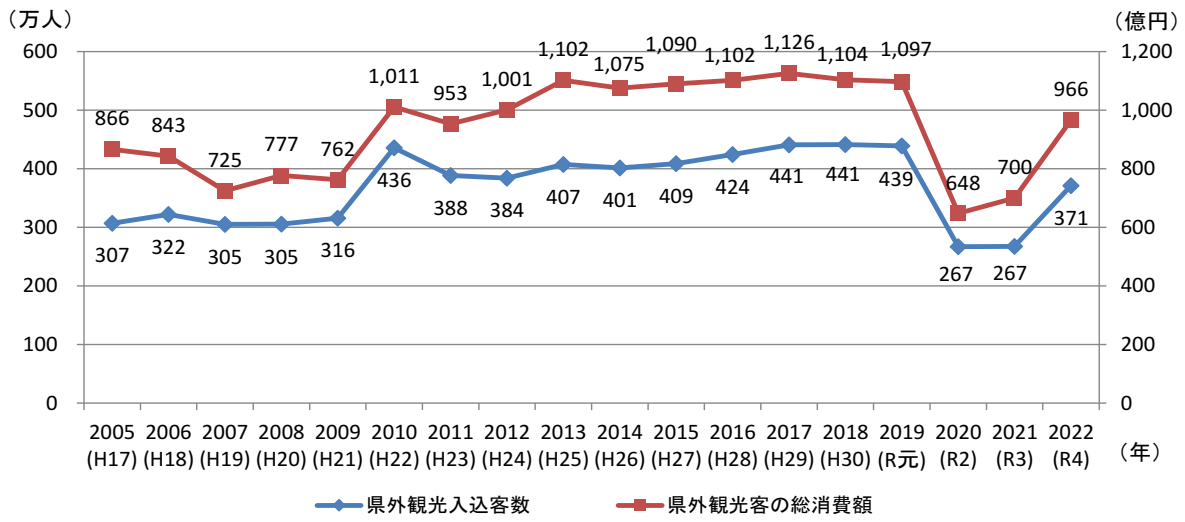
県外からの観光入込客数は、ＮＨＫ大河ドラマ「龍馬伝」の放送や「土佐・龍馬であい博」の開催、高速道路料金の割引等の効果もあり、2010（平成 22）年には前年を約 120 万人上回る勢いで増加し 400 万人観光を実現するとともに、県外観光客の総消費額は１千億円を超えた。2011（平成 23）年にはその反動で減少に転じたものの、2013（平成 25）年に再び 400 万人台となり、以降は観光入込客数、総消費額ともに高水準で推移してきた。2020（令和２）年に、新型コロナウイルス感染症の影響でいずれも大幅に減少したが、2022（令和４）年は高知県観光リカバリーキャンペーンなど、ウィズコロナ下での観光客受入に係る取組の推進等により、観光気運の回復が見られた。

また、観光施設利用実績の推移も、概ね観光入込客数と同様の傾向を示しており、全ての地域で前年の実績を上回った。地域別では、高知市に立地する施設の利用者数が最も多く、次いで物部川地域が多い。

観光客の発地ブロック別構成比をみると、四国地方と近畿地方で６割程度を占めている。また、宿泊の傾向としては日帰りまたは１泊２日の短期滞在の観光客が７割以上を占めている。

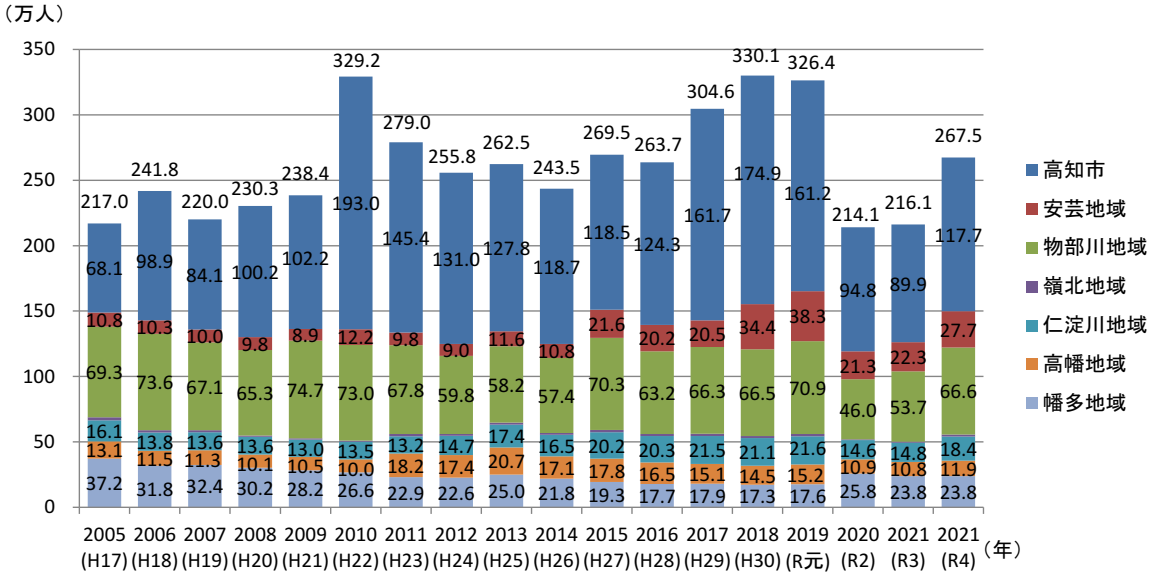
魅力的な観光資源の発掘・創出及び活用や、それらの効果的なＰＲを行うことで、高知市以外の地域に観光客を誘導することも十分可能であり、また、広域観光の場合は滞在時間が長くなり、宿泊が伴うことも予想される。さらに、外国人観光客数の回復や、リピーターによる地方観光の増加、2023（令和５）年のＮＨＫ朝の連続テレビ小説「らんまん」に続き、2025（令和７）年には「あんぱん」が放送されるなど、より一層の観光需要の増加が見込まれる。そのため、圏域全体で効果的な情報発信や受入態勢の整備に取り組み、外貨獲得の機会をしっかりと捉えることが求められる。

図表Ⅱ-26　県外からの観光入込客数及び県外観光客の総消費額の推移



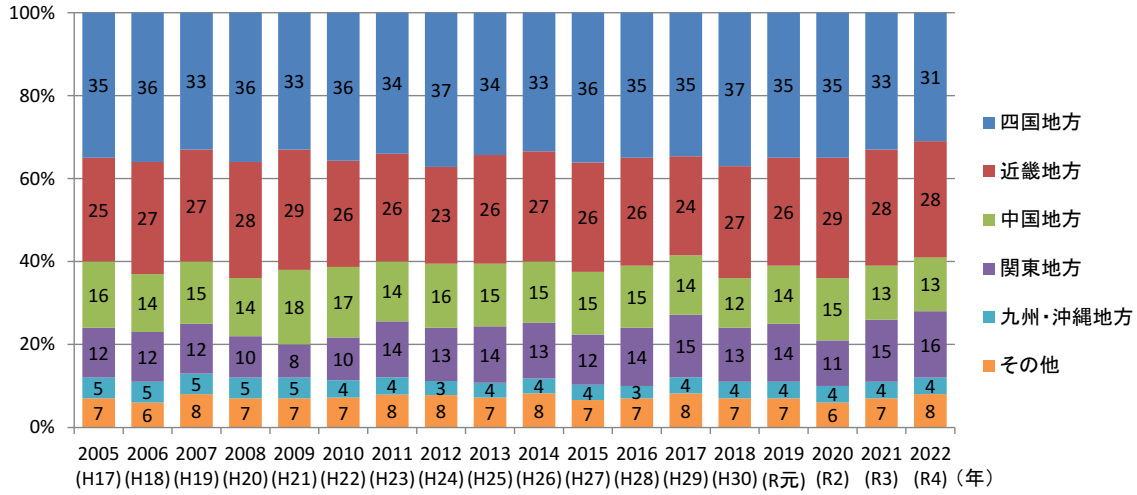
（資料）高知県「県外観光客入込・動態調査報告書」

図表Ⅱ-27　観光施設利用実績の推移



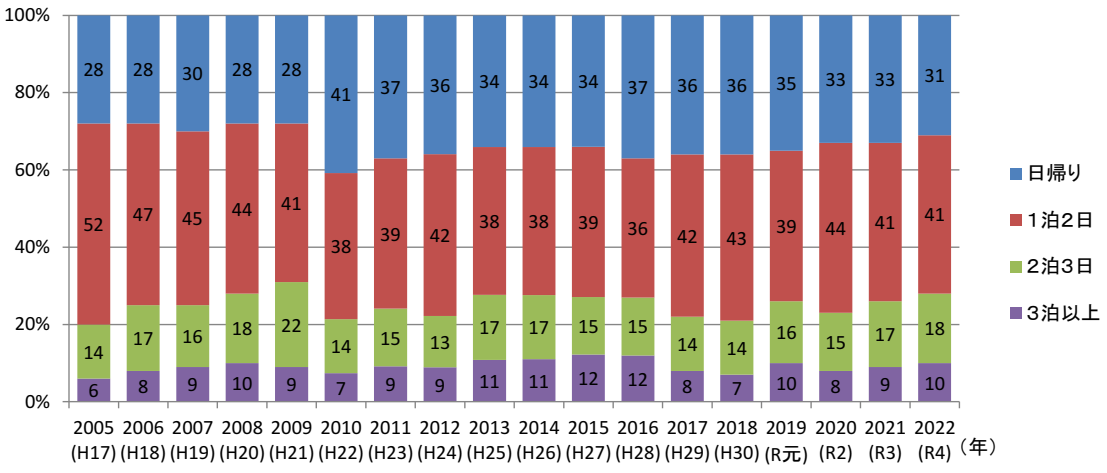
（資料）高知県「県外観光客入込・動態調査報告書」
（注1）各観光施設等の利用者数を集計したものであり、観光入込客数とは一致しない。
（注2）5万人未満は値ラベルの表示を省略している。

図表Ⅱ-28　発地ブロック別県外観光入込客数構成比の推移



（資料）高知県「県外観光客入込・動態調査報告書」

図表Ⅱ-29　日帰り／宿泊別県外観光入込客数構成比の推移



（資料）高知県「県外観光客入込・動態調査報告書」

図表Ⅱ-30　圏域内の主要な観光資源

地域	市町村	観光資源
高知市	高知市	高知城、街路市、桂浜、はりまや橋、県立牧野植物園
安芸	室戸市	室戸ユネスコ世界ジオパーク、むろと廃校水族館、吉良川町の町並み、だるま朝日・だるま夕日、四国八十八箇所霊場と遍路道
	安芸市	野良時計、岩崎彌太郎生家、土居廓中(武家屋敷)、伊尾木洞、童謡の里
	東洋町	白浜海水浴場、生見サーフィンビーチ、野根川
	奈半利町	奈半利町伝統的建造物群、野根山街道、奈半利町海浜センター（マリンスポーツ、サンゴ群）、琵琶ヶ滝、奈半利町応援キャラクター「きんめにゃん」
	田野町	だるま夕日、岡御殿、森林鉄道、天日塩、道の駅田野駅屋
	安田町	四国八十八箇所霊場と遍路道、魚梁瀬森林鉄道遺構、安田川アユおどる清流キャンプ場、キャラクター「安田朗」、だるま朝日・だるま夕日
	北川村	中岡慎太郎館、モネの庭マルモッタン、北川村温泉、森林鉄道、野根山街道
	馬路村	千本山、朝日出の大杉、旧魚梁瀬森林鉄道遺構・施設、安田川、馬路温泉
	芸西村	琴ケ浜松原、メランジュ帯、琴ケ浜野外劇場、伝承館、旧末延堂医院
物部川	南国市	岡豊城跡、ものづくりサポートセンター、土佐オナガドリ発祥の地、西島園芸団地、県立歴史民俗資料館
	香南市	県立のいち動物公園、絵金蔵、弁天座、ヤ・シィパーク、ごめん・なはり線の21キャラクター立像、アクトランド、井上ワイナリー、四国自動車博物館
	香美市	龍河洞、轟の滝、べふ峡、アンパンマンミュージアム、秦山公園
嶺北	本山町	県立自然公園帰全山公園、県立自然公園白髪山（白骨林と根下り桧）、棚田、汗見川渓谷と枕状溶岩、モンベルアウトドアヴィレッジ本山
	大豊町	吉野川、杉の大杉、ラフティング、梶ヶ森、ゆとりすとパーク
	土佐町	湖の駅さめうらレイクタウン（カヌーテラス、テントパーク）、吉野川、さめうら湖（早明浦ダム湖）、瀬戸川渓谷、稲村山
	大川村	大座礼山、平家平、小金滝、大北川渓谷、早明浦ダム湖

地域	市町村	観光資源
仁淀川	土佐市	宇佐ホエールウォッチング、酒蔵見学（亀泉・酔鯨）、四国八十八箇所霊場と遍路道、鰹節工場見学、大綱まつり
	いの町	紙の博物館、波川公園、グリーン・パークほどの、にこ淵、町道瓶ヶ森線（UFOライン）
	仁淀川町	秋葉祭り、土佐の神楽、沈下橋、仁淀川、桜・花桃
	佐川町	酒蔵の町並み、牧野公園（牧野富太郎博士ゆかりの植物）、青山文庫（江戸幕末期資料）、地質館、ロ481 号客車展示施設
	越知町	コスモスまつり、沈下橋、仁淀川、キャンプ場、横倉山（牧野富太郎博士ゆかりの植物、安徳天皇潜幸伝説、地層）
	日高村	沈下橋、屋形船・仁淀川、猿田洞、調整池（フットパス）、日下川放水トンネル（インフラツーリズム）
高幡	須崎市	須崎市マスコットキャラクター「しんじょう君」、二尺玉花火、大谷のクスノキ、上分大日如来座像、LOGOS PARK SEASIDE KOCHI SUSAKI
	中土佐町	大正町市場、四万十川（沈下橋）、黒潮本陣・黒潮工房、道の駅なかとさ、上ノ加江漁業体験
	梼原町	土佐の神楽（津野山神楽）、坂本龍馬脱藩の道、四国カルスト、森林セラピー基地・ロード、隈研吾施設群
	津野町	津野山古式神楽、四国カルスト、四万十川源流点、風の里公園（風力発電）、長沢の滝
	四万十町	四国八十八箇所霊場と遍路道、四万十川、海洋堂ホビー館、沈下橋、こいのぼりの川渡し
幡多	宿毛市	だるま夕日、横瀬川ダムクライミング施設、四国八十八箇所霊場と遍路道、足摺宇和海国立公園(沖の島、鵜来島)、道の駅すくもサニーサイドパーク
	土佐清水市	竜串・見残し海岸、足摺海洋館 SATOUMI、ジョン万次郎資料館、スノーピーク土佐清水キャンプフィールド、足摺岬
	四万十市	四万十川、Shimanto+Terrace はれのば、トンボ王国（トンボ自然公園）、道の駅よって西土佐、四万十川の駅カヌー館
	大月町	足摺宇和海国立公園、サンゴ礁、四国八十八箇所霊場と遍路道、宿毛湾、風車（風力発電）
	三原村	山里の景観と田園風景、ヒメノボタンの里公園、今ノ山、里の古木、どぶろく農林文化祭
	黒潮町	入野松原（国指定文化財）・入野海岸、カツオふれあいセンター黒潮一番館、大方ホエールウォッチング、土佐西南大規模公園、砂浜美術館

(6)産業支援機関等の状況

圏域内には、工業や農林水産業など、専門分野の技術支援による産業振興を図る試験研究機関や、業種を問わず、中小企業等を支援する様々な機関が立地している。試験研究機関は、地場産業等に対応する形で、様々な地域に立地しているが、各種産業及び中小企業を対象とした支援機関は、高知市に集中している。

また、雇用促進や職業能力開発に関する機関は各地域に設置されているが、特に高知市に多い。

図表Ⅱ-31 産業支援機関等の状況

区分	分類	地域	施設・機関名 ※( )は立地市町村名
産業振興・中小企業等支援機関及び施設	工業系試験研究機関	高知市	高知県工業技術センター
		安芸	高知県海洋深層水研究所(室戸市)
		仁淀川	高知県立紙産業技術センター(いの町)
	農林水産業系試験研究機関	高知市	高知県農業技術センター果樹試験場
			高知県環境研究センター
		物部川	高知県農業技術センター(南国市)
			高知県病害虫防除所(南国市)
			高知県立森林技術センター(香美市)
			高知県内水面漁業センター(香美市)
		仁淀川	高知県農業技術センター茶業試験場(仁淀川町)
			高知県畜産試験場(佐川町)
		高幡	高知県水産試験場(須崎市)
		幡多	高知県水産試験場古満目分場(大月町)
	各種産業及び中小企業等支援機関	高知市	一般社団法人 高知県UIターンサポートセンター
			一般財団法人 高知県地産外商公社高知事務所
			公益社団法人 高知県貿易協会
			公益財団法人 高知県産業振興センター
			高知県働き方改革推進支援センター
			高知県事業承継・引継ぎ支援センター
			ジェトロ<日本貿易振興機構>高知
			高知県中小企業再生支援協議会
			高知県経営改善支援センター
			高知県中小企業団体中央会
			一般社団法人 高知県発明協会
			高知県産学官民連携センター
			高知大学
			高知県立大学
			高知工科大学
			公益財団法人 高知県観光コンベンション協会
		物部川	高知大学(南国市)
			高知工科大学(香美市)
			高知工業高等専門学校(南国市)
		各市町村	商工会議所及び商工会
	展示施設	高知市	高知ぢばさんセンター
			高知県立地域職業訓練センター
雇用促進・職業能力開発機関		高知市	高知県立高知高等技術学校
			ハローワーク高知
			ハローワークジョブセンターほんまち
			ハローワーク高知若者相談コーナー
			ジョブカフェこうち
			ポリテクセンター高知
			株式会社 高知ソフトウェアセンター
			高知県職業能力開発協会
			ひとり親家庭支援センター
			高知家の女性しごと応援室
			一般社団法人 高知県漁業就業支援センター
			公益社団法人 高知県シルバー人材センター連合会
		安芸	ハローワーク安芸(安芸市)
		物部川	高知県立林業大学校(香美市)
			高知県林業労働力確保支援センター(香美市)
			ハローワーク香美(香美市)
			株式会社 南国オフィスパークセンター(南国市)
			ポリテクカレッジ高知(香南市)
		仁淀川	高知県立農業大学校(いの町)
			ハローワークいの(いの町)
		高幡	高知県立農業担い手育成センター(四万十町)
			ハローワーク須崎(須崎市)
		幡多	高知県立中村高等技術学校(四万十市)
			ハローワーク四万十(四万十市)
			ジョブカフェこうち幡多サテライト(四万十市)
		各市町村	シルバー人材センター

(資料)高知県資料

4　高次都市機能の状況

（1）行政機関

行政機関は高知市に立地しているものが多いが、管轄省庁によっては高知市以外の地域に関連機関を設置しているところもある。

図表Ⅱ-32　行政機関の立地状況

府省名	機関名
総務省	高知行政監視行政相談センター
法務省	高知地方法務局 　高知地方法務局各支局（安芸市、香美市、須崎市、四万十市） 高知地方検察庁 　高知地方検察庁各支部（安芸市、須崎市、四万十市） 高知刑務所 高知保護観察所 高知少年鑑別所 高松出入国在留管理局高知出張所
財務省	神戸税関高知税関支署 　神戸税関高知税関支署出張所（須崎市） 四国財務局高知財務事務所 各税務署（高知市、安芸市、南国市、いの町、須崎市、四万十市）
厚生労働省	高知労働局 各労働基準監督署（高知市、安芸市、須崎市、四万十市） 各公共職業安定所（高知市、安芸市、いの町、須崎市、四万十市） 　高知公共職業安定所出張所（香美市） 広島検疫所高知出張所 四国厚生支局高知事務所
農林水産省	四国森林管理局 各森林管理署（安芸市、香美市、本山町、四万十市） 四万十川森林ふれあい推進センター（四万十市） 神戸植物防疫所坂出支所高知出張所 中国四国農政局高知県拠点 　中国四国農政局高知南国農地整備事業所（香美市）
国土交通省	高知海上保安部 各海上保安署（宿毛市、土佐清水市） 高知地方気象台 四国運輸局高知運輸支局本庁舎・大津庁舎 大阪航空局高知空港事務所（南国市） 四国地方整備局各河川国道事務所・出張所（高知市、南国市、四万十市） 四国地方整備局土佐国道事務所・各出張所（高知市、奈半利町、南国市、佐川町） 四国地方整備局各ダム管理事務所・管理所（仁淀川町、宿毛市） 四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所・各出張所（高知市、須崎市、宿毛市）
環境省	土佐清水自然保護官事務所（土佐清水市）
防衛省	自衛隊高知地方協力本部 陸上自衛隊高知駐屯地（香南市）
裁判所	高知地方裁判所 　高知地方裁判所各支部（安芸市、須崎市、四万十市） 高知家庭裁判所 　高知家庭裁判所各支部（安芸市、須崎市、四万十市） 高知簡易裁判所 　各簡易裁判所（安芸市、須崎市、四万十市） 高知検察審査会
日本年金機構	各年金事務所（高知市、南国市、四万十市）

（注）所在地の記載がない機関は高知市に立地している。

（2）医療機関

三次救急医療については、高知市に立地する高知医療センター、高知赤十字病院、近森病院がその機能を提供しており、二次救急医療施設が各地域の医療をカバーしている。

また、周産期医療及び小児救命救急医療等の高度な医療の提供については、高知医療センター、高知大学医学部附属病院（南国市）が行っている。

図表Ⅱ-33 医療機関の立地状況

■救急医療

種別	地域	市町村	機関名称
三次救急医療施設 （救命救急センター）	高知市	高知市	高知医療センター、高知赤十字病院、近森病院
二次救急医療施設 （救急告示病院・診療所）	高知市	高知市	愛宕病院、いずみの病院、内田脳神経外科、国吉病院、高知医療センター、高知生協病院、高知整形・脳外科病院、高知赤十字病院、高知脳神経外科病院、国立病院機構高知病院、田中整形外科病院、近森病院、図南病院、細木病院、高知高須病院、もみのき病院、地域医療機能推進機構高知西病院、永井病院、島津病院
	安芸	安芸市	あき総合病院、森澤病院
		田野町	田野病院
	物部川	南国市	高知大学医学部附属病院、JA高知病院、南国中央病院
		香南市	野市中央病院
		香美市	前田メディカルクリニック
	嶺北	本山町	嶺北中央病院
	仁淀川	土佐市	土佐市民病院
		いの町	仁淀病院
		佐川町	高北国民健康保険病院、清和病院
		越知町	北島病院、前田病院、山﨑外科整形外科病院
	高幡	須崎市	須崎くろしお病院
		梼原町	梼原病院
		四万十町	くぼかわ病院
	幡多	宿毛市	幡多けんみん病院
		土佐清水市	渭南病院
		大月町	大月病院
二次救急医療施設 （病院群輪番制病院）	安芸	安芸市	あき総合病院、森澤病院
		田野町	田野病院
	高幡	須崎市	高陵病院、須崎くろしお病院
		梼原町	梼原病院
		四万十町	大西病院、くぼかわ病院
	幡多	宿毛市	大井田病院、幡多けんみん病院
		土佐清水市	渭南病院
		四万十市	木俵病院、四万十市立市民病院、竹本病院、森下病院
		大月町	大月病院
休日夜間急患センター	高知市	高知市	休日夜間急患センター

■周産期医療

種別	地域	市町村	機関名称
総合周産期母子医療センター	高知市	高知市	高知医療センター
地域周産期母子医療センター	物部川	南国市	高知大学医学部附属病院

■小児救急医療

種別	地域	市町村	機関名称
入院小児救急医療機関 （小児科病院群輪番制病院）	高知市	高知市	高知医療センター、高知赤十字病院、国立病院機構高知病院
	物部川	南国市	高知大学医学部附属病院、JA高知病院
入院小児救急医療機関 （小児科医師対応の救急告示病院）	安芸	安芸市	あき総合病院
	幡多	宿毛市	幡多けんみん病院
小児救命救急医療機関	高知市	高知市	高知医療センター、高知赤十字病院
	物部川	南国市	高知大学医学部附属病院
平日夜間小児急患センター	高知市	高知市	平日夜間小児急患センター

■災害医療

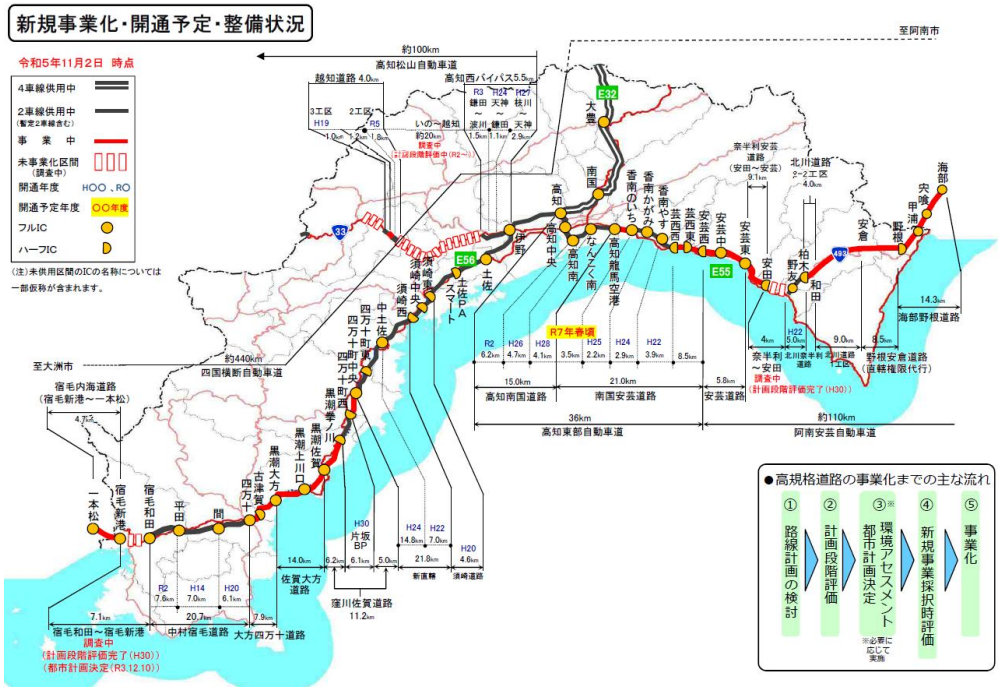
種別	地域	市町村	機関名称
広域的な災害拠点病院	高知市	高知市	高知医療センター、高知赤十字病院
	物部川	南国市	高知大学医学部附属病院
災害拠点病院	高知市	高知市	近森病院、国立病院機構高知病院
	安芸	安芸市	あき総合病院
	物部川	南国市	JA高知病院
	仁淀川	土佐市	土佐市民病院
		いの町	仁淀病院
	高幡	須崎市	須崎くろしお病院
		四万十町	くぼかわ病院
	幡多	宿毛市	幡多けんみん病院

（資料）高知県「第7期高知県保健医療計画（平成 30 年度～令和5年度）」

(3)広域的交通網

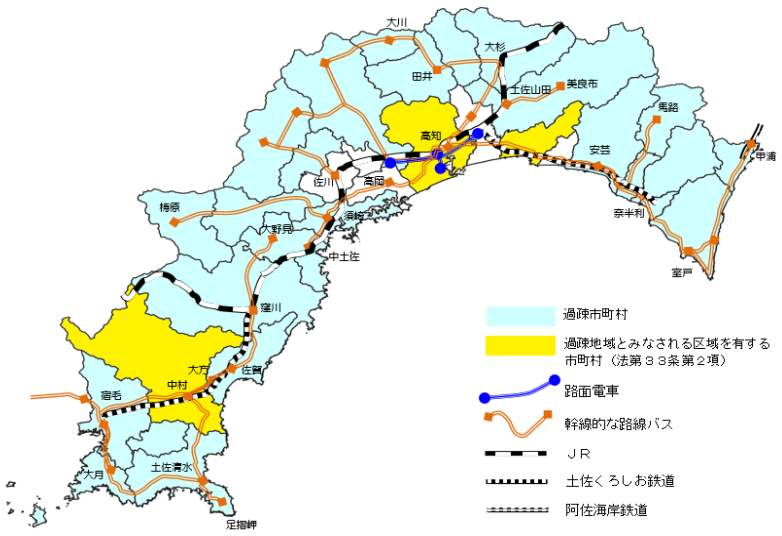
圏域内では、圏域を東西に結ぶ高規格道路の計画・整備が進められているものの、供用区間はまだ短く、かつ分断されている状況である。また、圏域を南北に結ぶ交通にも空白地帯が見られる。圏域住民の生活利便性の向上、圏域内外でのモノの流通やヒトの交流の促進のためには、高知市周辺に集積する高次都市機能への圏域全体からのアクセスを向上させる、広域交通ネットワークの早急な整備が求められる。

図表Ⅱ-34 高規格道路の整備状況



(資料)高知県資料

図表Ⅱ-35 広域公共交通の状況



(資料)高知県資料

(4)高等教育機関

圏域内には、5校の大学と1校の短期大学、さらに1校の高等専門学校が立地しており、大学院も含めると、約1万人もの学生が在籍している。

地域活性化や産業振興のパートナーとなる大学等との交流・連携を積極的に推進するとともに、学生をはじめとする若者の知恵と力を活用した協働の推進や、地元企業への就職促進等による地域への定着を図り、将来の圏域活性化の担い手としての人材の確保・育成につなげることが求められる。

図表Ⅱ-36 大学等の立地と学生数の状況(2023(令和5)年)

(単位:人)

名称	所在地	学部・研究科	専攻	学生数
高知大学	高知市	人文社会科学部		1,223
		教育学部		557
		理工学部		1,047
		地域協働学部		266
		土佐さきがけプログラム		1
		総合人間自然科学研究科　修士課程	人文社会科学専攻	17
			教育学専攻	1
			理工学専攻	130
			地域協働学専攻	7
			土佐さきがけプログラムグリーンサイエンス人材育成コース	5
		総合人間自然科学研究科　専門職学位課程	教職実践高度化専攻	25
		総合人間自然科学研究科　博士課程	応用自然科学専攻	21
	南国市	医学部		960
		農林海洋科学部		850
		総合人間自然科学研究科　修士課程	医科学専攻	24
			看護学専攻	24
			農林海洋科学専攻	115
		総合人間自然科学研究科　博士課程	医学専攻	124
			黒潮圏総合科学専攻	17
	計			5,414
高知県立大学	高知市	文化学部		646
		看護学部		332
		社会福祉学部		300
		健康栄養学部		167
		看護学研究科　博士前期課程		26
		看護学研究科　博士後期課程		32
		看護学研究科　博士一貫課程		3
		人間生活学研究科　博士前期課程		15
		人間生活学研究科　博士後期課程		7
	計			1,528
高知工科大学	香美市	システム工学群		765
		理工学群(環境理工学群)		398
		情報学群		437
		経済・マネジメント学群		702
		大学院修士課程	知能機械工学コース	59
			航空宇宙工学コース	22
			エネルギー工学コース	2
			電子・光工学コース	21
			社会システム工学コース	20
			環境数理コース	7
			化学コース	27
			マテリアル工学コース	14
			生命科学コース	10
			情報学コース	49
			起業マネジメントコース	15
			高度教育実践コース	1
		大学院博士後期課程	基盤工学コース	54
			起業マネジメントコース	26
			社会人特別コース	3
	計			2,632
高知学園大学	高知市	健康科学部	管理栄養学科	191
			臨床検査学科	181
	計			372
高知学園短期大学	高知市	幼児保育学科		137
		歯科衛生学科		83
		看護学科		198
	計			418
高知リハビリテーション専門職大学	土佐市	リハビリテーション学部リハビリテーション学科	理学療法学専攻	271
			作業療法学専攻	93
			言語聴覚学専攻	88
	計			452
高知工業高等専門学校	南国市	1・2学年		350
		本科ソーシャルデザイン工学専攻	エネルギー・環境コース	86
			ロボティクスコース	55
			情報セキュリティコース	114
			まちづくり・防災コース	123
			新素材・生命コース	93
		専攻科ソーシャルデザイン工学専攻		49
	計			870
合計				11,686

(資料)各大学等ホームページ

(5)文化・スポーツ等関連施設

圏域内に立地する主な文化施設（ホール等、美術館・博物館）及びスポーツ施設は、下表に示すとおりである。

図表Ⅱ-37　主な文化・スポーツ施設

都市機能	高知市	連携市町村	
ホール等	・高知県立県民文化ホール ・高知県立ふくし交流プラザ ・高知市文化プラザ かるぽーと	安芸	・室戸市保健福祉センター　やすらぎ（室戸市） ・安芸市民会館（安芸市） ・東洋町町民会館　大ホール（東洋町） ・東洋町地域福祉センター　多目的ホール（東洋町） ・奈半利町民会館（奈半利町） ・田野町ふれあいセンター（田野町） ・安田町文化センター（安田町） ・北川村民会館（北川村） ・馬路村集会センターうまなび（馬路村） ・芸西村民会館（芸西村）
		物部川	・南国市地域交流センターMIARE!（みあーれ！）（南国市） ・香南市弁天座（香南市） ・香南市天然色劇場（香南市） ・香南市中央公民館サンホール（香南市） ・香美市立中央公民館（香美市） ・香美市立保健福祉センター香北（香美市） ・奥物部ふれあいプラザ（香美市）
		嶺北	・本山町プラチナセンター（本山町）
		仁淀川	・いのホール（いの町） ・いの町立伊野公民館（いの町） ・すこやかセンター伊野（いの町） ・いの町立吾北中央公民館（いの町） ・いの町立本川プラチナ交流センター（いの町） ・佐川町立　桜座（佐川町） ・越知町民会館（越知町） ・土佐市複合文化施設つなーで（土佐市） ・仁淀川町交流センター（仁淀川町） ・仁淀川町コミュニティセンター（仁淀川町） ・仁淀多目的研修集会施設（仁淀川町）
		高幡	・須崎市立市民文化会館（須崎市） ・中土佐町民交流会館（中土佐町） ・中土佐町立文化館（中土佐町） ・中土佐町人権啓発センター（中土佐町） ・中土佐町大野見保健福祉センター（中土佐町） ・ゆすはら座（梼原町） ・ゆすはら・夢・未来館（梼原町） ・津野町酒蔵ホール（津野町） ・津野町福祉交流センター（津野町） ・津野町総合保健福祉センター（津野町） ・窪川四万十会館（四万十町） ・きらら大正（四万十町）
都市機能	高知市	連携市町村	

ホール等		幡多	・宿毛市総合社会福祉センター（宿毛市） ・宿毛市立中央公民館（宿毛市） ・土佐清水市立市民文化会館（土佐清水市） ・土佐清水市立中央公民館（土佐清水市） ・四万十市立文化センター（四万十市） ・西土佐ふれあいホール（四万十市） ・三原村農業構造改善センター（三原村） ・三原村中央公民館（三原村） ・高知県立ふるさと総合センター（黒潮町） ・黒潮町立大方あかつき館（黒潮町）
美術館・博物館	・高知県立美術館 ・高知県立坂本龍馬記念館 ・高知県立高知城歴史博物館 ・高知市立自由民権記念館	安芸	・道の駅キラメッセ室戸・鯨館（室戸市） ・室戸海洋深層水アクアファーム（室戸市） ・室戸世界ジオパークセンター（室戸市） ・安芸市立歴史民俗資料館（安芸市） ・安芸市立書道美術館（安芸市） ・安田まちなみ交流館・和（安田町） ・日本遺産ゆずロードミュージアム（安田町） ・中岡慎太郎館（北川村） ・馬路村郷土館（馬路村） ・芸西村筒井美術館（芸西村） ・芸西村文化資料館（芸西村）
		物部川	・高知県立歴史民俗資料館（南国市） ・高知県立埋蔵文化財センター（南国市） ・南国市ものづくりサポートセンター（南国市） ・絵金蔵（香南市） ・香南市文化財センター（香南市） ・香美市立美術館（香美市） ・香美市立やなせたかし記念館　アンパンマンミュージアム（香美市） ・奥物部美術館（香美市） ・香美市立吉井勇記念館（香美市）
		嶺北	・本山町立大原富枝文学館（本山町） ・青木幹勇記念館（土佐町）
		仁淀川	・佐川町立青山文庫（佐川町） ・佐川地質館（佐川町） ・横倉山自然の森博物館（越知町） ・本の森図書館（越知町）
		高幡	・まちかどギャラリー（須崎市） ・中土佐町立美術館（中土佐町） ・歴史民俗資料館　梼原千百年物語り（梼原町） ・雲の上の図書館（梼原町） ・隈研吾の小さなミュージアム（梼原町） ・郷土資料館（津野町） ・吉村虎太郎邸（津野町） ・四万十町立美術館（四万十町）
		幡多	・宿毛市立宿毛歴史館（宿毛市） ・宿毛まちのえき林邸（宿毛市） ・ジョン万次郎資料館（土佐清水市） ・四万十市郷土博物館（四万十市） ・四万十川学遊館（四万十市） ・黒潮町上林暁文学館（大方あかつき館内）（黒潮町）
都市機能	高知市	連携市町村	

スポーツ施設	・高知県立県民体育館 ・高知県立春野総合運動公園 ・高知市総合運動場 ・高知市東部総合運動場	安芸	・室戸市中央公園（相撲場・テニス場・多目的グランド）（室戸市） ・室戸広域公園（野球場・屋内運動施設・アスレチック）（室戸市） ・高知県立室戸体育館（室戸市） ・室戸市勤労者体育センター（室戸市） ・MUROTO base 55(グランピング施設)(室戸市) ・安芸市営球場（安芸タイガース球場）（安芸市） ・安芸市多目的体育館（安芸ドーム）（安芸市） ・安芸市体育館（安芸市） ・東洋町B＆G海洋センター（東洋町） ・東洋町総合運動公園（東洋町） ・奈半利港緑地公園グラウンド（奈半利町） ・田野町体育センター（田野町） ・中芸広域体育館（安田町） ・憩ヶ丘運動公園（芸西村）
		物部川	・南国市立スポーツセンター（南国市） ・南国市立吾岡山文化の森スポーツ広場（南国市） ・香南市サイクリングターミナル 海のやど しおや宿（香南市） ・高知県立青少年センター（香南市） ・香南市野市ふれあい広場（香南市） ・香南市野市総合体育館（香南市） ・香南市マリンスポーツ施設（シースポ）（香南市） ・土佐山田スタジアム（香美市） ・香北青少年の家周辺施設（香美市） ・香美市土佐山田体育館（香美市）
		嶺北	・本山町吉野クライミングセンター（本山町） ・本山町寺家カヌー競技会場（本山町） ・本山町吉野運動公園（本山町） ・大豊町大杉農村広場（大豊町） ・土佐町町民グラウンド（土佐町） ・さめうらカヌーテラス（土佐町） ・大川村山村広場（大川村） ・白滝スポーツコミュニティセンター（大川村）
		仁淀川	・土佐公園グランド（土佐市） ・土佐市立市民体育館（土佐市） ・いの町総合運動場（野球場・テニスコート）（いの町） ・吾北運動場（いの町） ・高知県立青少年体育館（いの町） ・いの町立伊野体育館（いの町） ・いの町立吾北体育館（いの町） ・スポーツパークさかわ（佐川町） ・佐川町民プール・テニスコート（佐川町） ・越知町民総合運動場（越知町） ・越知町民会館屋内運動場（越知町） ・スノーピークかわの駅おち（越知町） ・スノーピークおち仁淀川キャンプフィールド（越知町） ・日高村総合運動公園（日高村）
都市機能	高知市	連携市町村	

スポーツ施設		高幡	・須崎市立スポーツセンター（よこなみアリーナ・横浪運動広場・カヌー場・シーパーク大島）（須崎市） ・須崎市立市民体育館（須崎市） ・須崎市立市民体育館多ノ郷体育センター（須崎市） ・中土佐町スポーツ文化センター（中土佐町） ・中土佐町立大野見体育館（中土佐町） ・小草ふれあい公園パークゴルフ場（中土佐町） ・大越グランド・体育館（梼原町） ・雲の上のプール（梼原町） ・津野町東津野B＆G海洋センター・津野町西運動公園（津野町） ・津野町葉山運動公園（津野町） ・勤労者体育センター（津野町） ・新土居健康管理施設（津野町） ・四万十町窪川運動場（四万十町） ・四万十町窪川勤労者体育センター（四万十町） ・四万十町窪川B＆G海洋センター（四万十町） ・四万十町立大正体育館（四万十町） ・四万十町十和体育館（四万十町）
		幡多	・宿毛運動公園（野球場等）（宿毛市） ・宿毛市和田体育館（宿毛市） ・宿毛市総合運動公園（陸上競技場等）（宿毛市） ・平田公園（テニスコート等）（宿毛市） ・宿毛市東部運動場（宿毛市） ・土佐清水市立市民体育館（土佐清水市） ・土佐清水市総合公園多目的広場（土佐清水市） ・土佐清水市浦尻運動公園運動広場（土佐清水市） ・土佐清水市三崎運動広場（土佐清水市） ・土佐清水市下ノ加江運動広場（土佐清水市） ・安並運動公園（四万十市） ・具同体育センター（四万十市） ・四万十川下流交流センター（四万十市） ・四万十カヌーとキャンプの里かわらっこ（四万十市） ・四万十川の駅カヌー館（四万十市） ・大月町町民総合グランド（大月町） ・三原村ふれあい広場（三原村） ・高知県立土佐西南大規模公園（体育館・運動場）（黒潮町） ・大方球場（黒潮町）

5　生活関連機能の状況

（1）地域医療

主要診療科目別の医療施設従事医師数（人口５千人当たり）を地域別にみると、内科は比較的医師数が多いものの、多くの地域では圏域の平均値（圏域計）を下回っている。また、循環器内科、小児科、産婦人科では、医師数が１人を超えているのは物部川地域のみであり、また、嶺北地域と高幡地域には産婦人科医師、嶺北地域には循環器内科医師がいない状況であるなど、特定の地域で不足する医療サービスを圏域全体で補い合うための環境の整備が求められる。

図表Ⅱ-38　主要診療科目別医療施設従事医師数（人口5千人当たり・2020（令和2）年）

（単位：人）

	内　科	循環器内科	小児科	精神科	外　科	整形外科	産婦人科
圏域計	3.7	0.7	0.7	0.9	0.9	1.3	0.8
高知市	4.1	0.8	0.7	1.1	1.0	1.6	0.8
安芸地域	3.1	0.4	0.3	0.9	0.8	1.0	0.6
物部川地域	3.9	1.3	1.6	1.2	0.9	1.2	1.9
嶺北地域	4.9	－	0.4	0.4	0.9	0.4	－
仁淀川地域	3.1	0.5	0.3	0.6	0.6	1.0	0.2
高幡地域	3.5	0.2	0.4	0.4	0.7	1.1	－
幡多地域	2.7	0.5	0.8	0.5	0.8	0.9	0.7

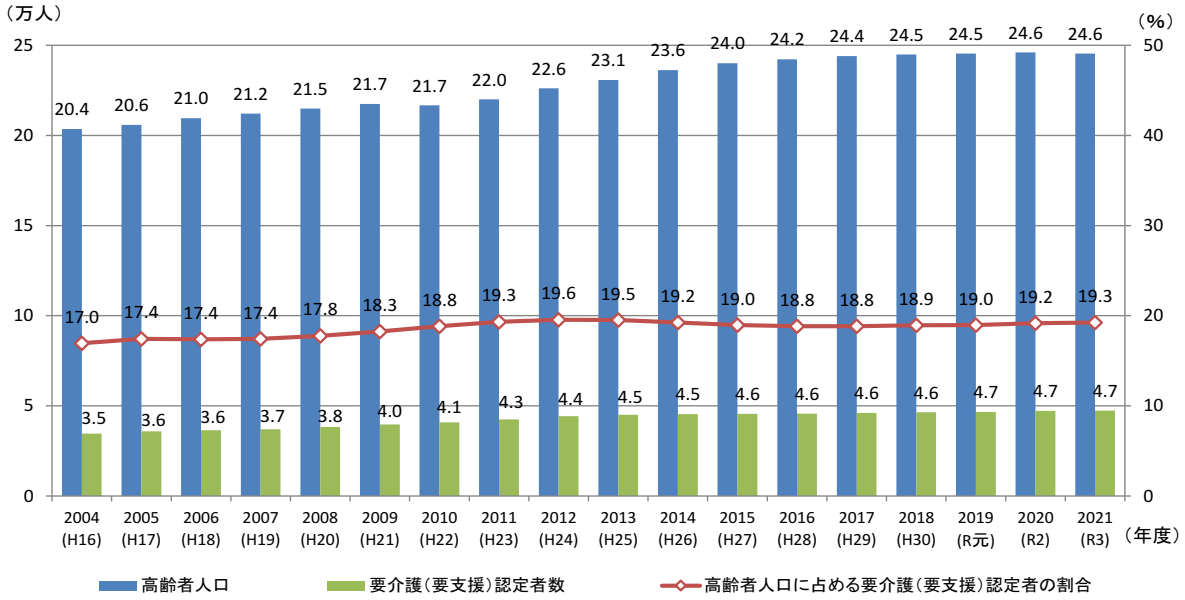
（資料）厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
（注1）圏域全体で医療施設従事医師数（従業地ベース）が 100 人以上の診療科及び産婦人科を抽出。
（注2）医師が複数の診療科に従事している場合は主として従事する診療科でカウント。
（注3）産婦人科のみ女性人口5千人あたりの値。

（2）介護・障がい者福祉

圏域内の高齢者人口は増加を続けており、高齢者人口に占める要介護（要支援）認定者の割合も、2012（平成 24）年度をピークに一旦低下傾向となったものの、2018（平成 30）年度からは再び上昇傾向となり、依然として高い傾向にある。また、介護保険施設等の定員や職員数については、いずれも近年横ばい傾向にあるが、今後、要介護（要支援）認定者の増加や介護人材の減少などにより、介護の受け皿が不足する可能性も生じるため、圏域全体で介護予防の取組による健康寿命の延伸や、介護が必要になった場合のサービスの確保を図っていくことが求められる。

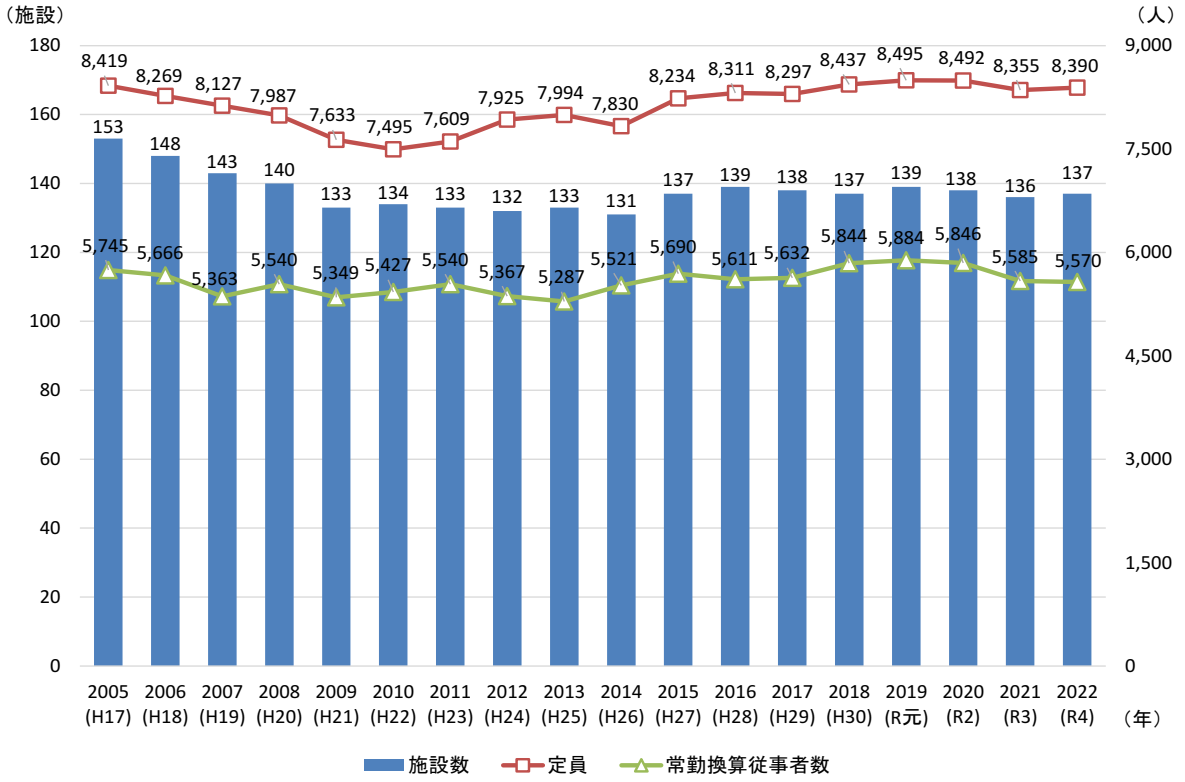
障害者支援施設等については、近年、施設数、在所者数ともに概ね横ばいで推移しているが、今後も必要に応じたサービス提供体制の維持が求められる。

図表Ⅱ-39　介護を必要としている高齢者の割合



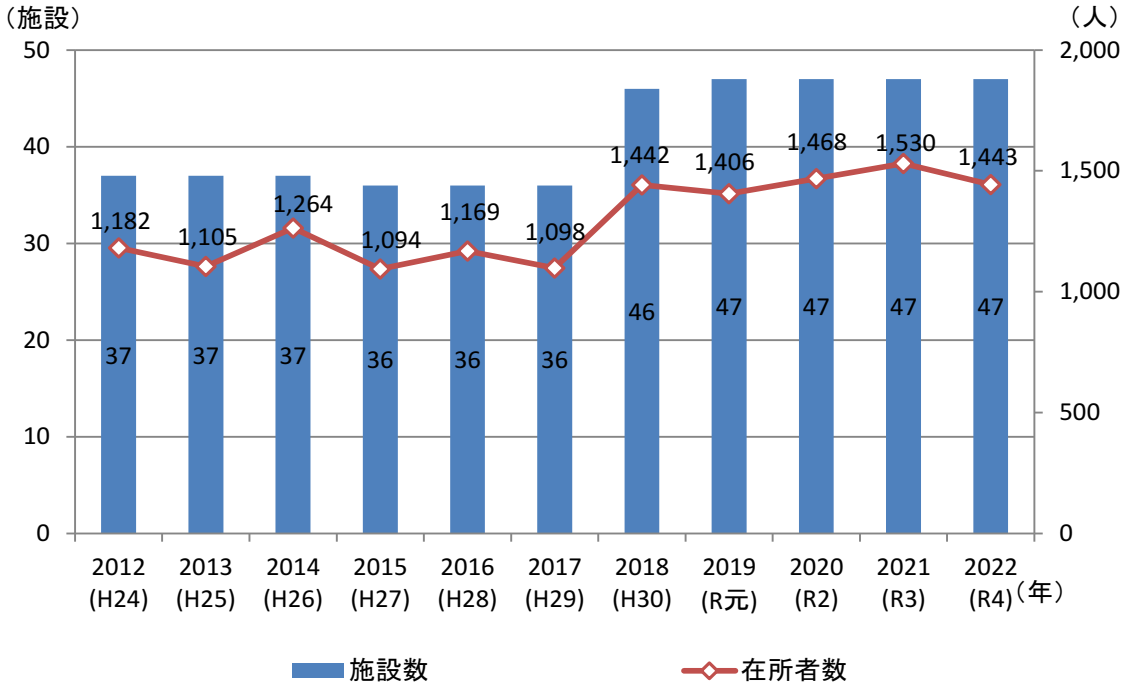
（資料）厚生労働省「介護保険事業報告」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
（注）2013（平成 25）年度以降、高齢者人口は各年度の1月1日現在の値。

図表Ⅱ-40　介護保険施設等の状況



（資料）厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」
（注1）抽出対象は介護保険施設及び地域密着型介護老人福祉施設。
（注2）全数調査から標本調査への移行により、2018（平成 30）年以降の常勤換算従事者数は推計値となっている。

図表Ⅱ-41　障害者支援施設等の状況



（資料）厚生労働省「社会福祉施設等調査」
（注）全数調査から標本調査への移行により、2018（平成 30）年以降の障害者支援施設等在所者数は推計値となっている。

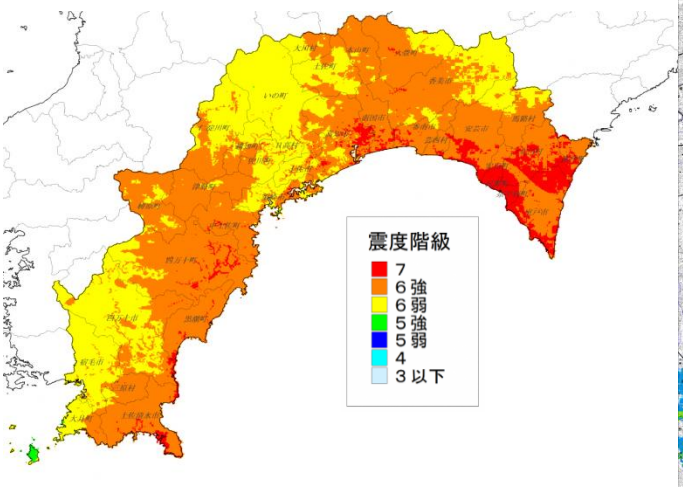
（3）防災対策

今後 30 年以内に 70%～80%の確率で発生するといわれている南海トラフ地震は、圏域にも大きな被害をもたらすことが想定されている。

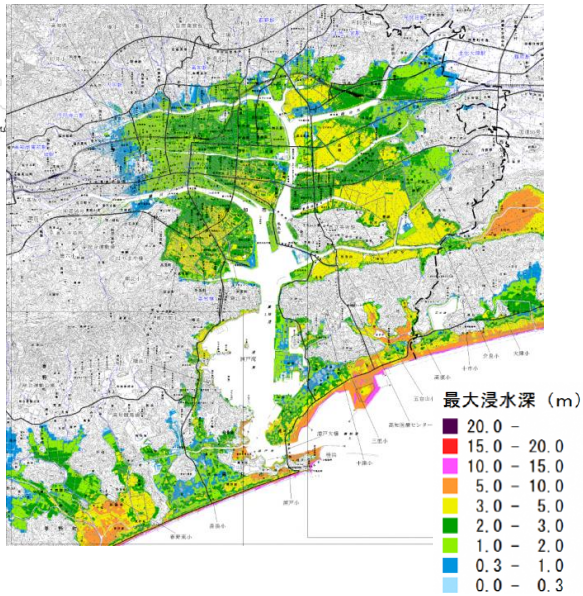
被害を最小限にするため、全ての市町村が相互に連携しながら、「命を守る」（被災前の防災対策）、「命をつなぐ」（被災直後の各種対応）、「生活を立ち上げる」（復興や暮らしの再建に向けた取組）の３段階で、各種の対策に取り組んでいる。また、災害発生時の防災拠点となる施設についても、圏域内の各所に配置されている。

図表Ⅱ-42　南海トラフ地震発生時の被害想定

［震度分布図］



［津波浸水予測図（高知市）］



（資料）高知県ホームページ
（注）高知市を含む全市町村の「津波浸水予測図」は、高知県ホームページに掲載されている。

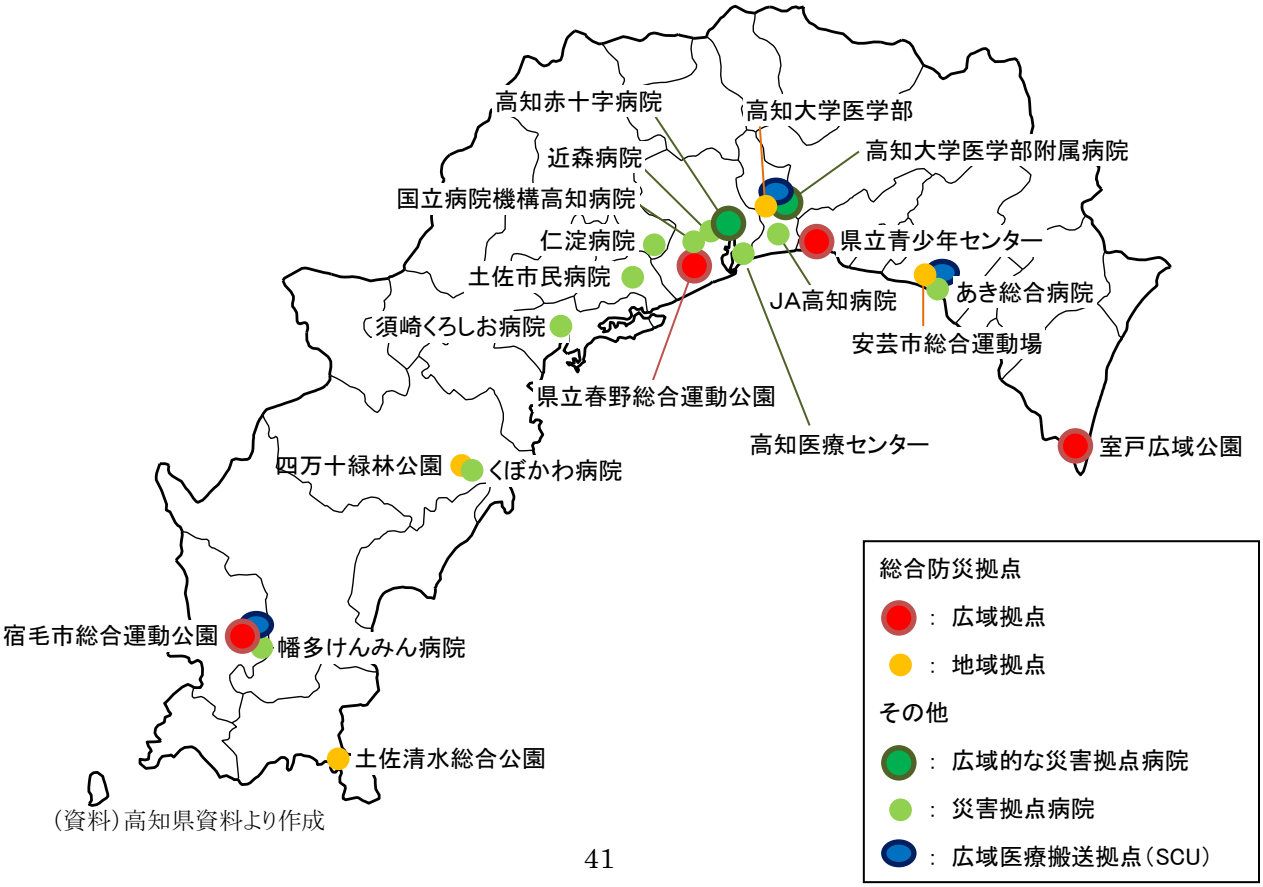
図表Ⅱ-43　圏域における南海トラフ地震対策の全体イメージ

	揺れ対策	津波対策	火災対策
命を守る	・住宅の耐震化 ・ブロック塀対策 ・公共施設等の耐震化 ・室内の安全確保対策　など	・避難対策 ・津波・浸水被害の軽減 ・要配慮者施設の高台移転　など	・市街地の大規模火災等への対策 ・津波火災への対策　など

	応急活動対策	被災者・避難所対策	医療救護対策
命をつなぐ	・輸送対策 ・応急活動体制の実効性の確保 ・ライフライン対策 ・燃料確保対策 ・長期浸水対策の推進　など	・避難所の確保と運営体制の充実 ・福祉避難所の確保 ・備蓄の促進 ・保健・衛生活動の充実　など	・前方展開型の医療救護体制の確立 ・透析患者等への支援対策　など
	受援態勢の整備（各種受援計画の実効性の確保　など）		

	まちづくり	くらしの再建	産業の復旧・復興
生活を立ち上げる	・地籍調査 ・復興グランドデザインの検討 ・住宅の確保　など	・災害廃棄物の処理 ・社会福祉施設の BCP 策定 ・災害ケースマネジメント体制の構築　など	・農林水産業、商工業、観光業の復旧・復興

図表Ⅱ-44　総合防災拠点等の立地状況



（資料）高知県資料より作成

Ⅲ　圏域の将来像と目標

１　圏域の特徴・強みと課題

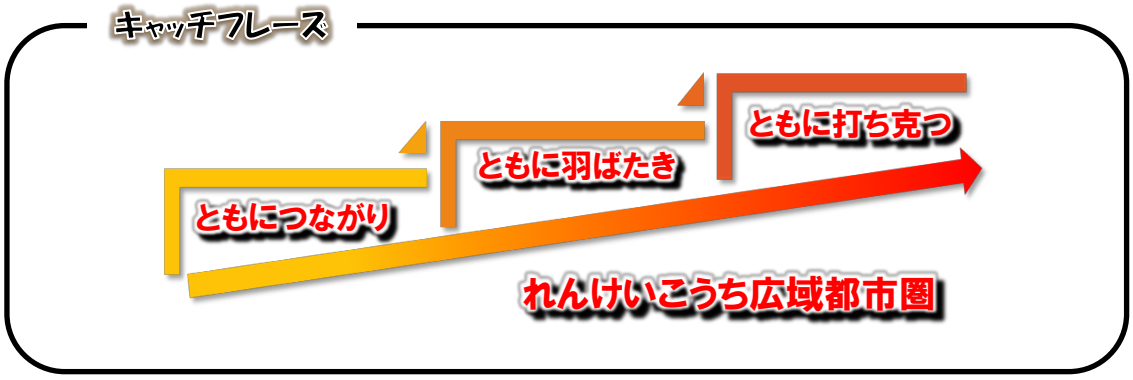
れんけいこうち広域都市圏は、高知市を中心とする都市部と、海・山・川をはじめとする豊かな自然環境が生み出す多様な魅力に恵まれており、新たな働き方や余暇の過ごし方を実現できる圏域である。

圏域内では、地域特性を生かした産業クラスターの形成が進んでおり、圏域の強みである農業や食料品製造業の集積を背景とした豊かな「食」は、圏域内外の多くの方に享受されている。また、坂本龍馬をはじめとする歴史資源や、魅力的な自然環境は、圏域外から多くの観光客を呼び込んでいる。さらに、圏域内の商業機能が集積する高知市は、人口や観光客が集中しており、圏域内の各地から集まるモノが消費される一大マーケットと圏域外への移出のハブ機能としての役割を果たしている。

一方、圏域外からの移住者は年々増加しているものの、出生者数の減少や若者を中心とした転出超過による人口減少や少子高齢化が深刻化する見込みであり、住民がそれぞれの地域で安心して暮らし続けることができる圏域づくりに向けて、コロナ禍で落ち込んだ地域経済の回復はもとより、圏域全体の経済基盤の強化や地域の担い手となる人材の確保・育成、多様化する住民ニーズに即した質の高いサービスの提供等が求められている。

２　圏域が目指す将来像

れんけいこうち広域都市圏では、人口や都市機能が集中、集積する高知市が県内全市町村と連携し、そのマーケット機能や、ヒト・モノのハブ機能を生かした取組や全国への情報発信を積極的に推進することで、圏域全体をけん引し、各市町村がまち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けて行う、雇用の創出、新しい人の流れの創出、結婚・出産・子育て支援、安心な暮らしを守る取組等との相乗効果を発揮して、人口減少の大きな波に打ち克つことのできる圏域を目指す。



３　将来人口の目標

れんけいこうち広域都市圏の人口は、高知県の総人口と一致するため、「高知県元気な未来創造戦略」に示された高知県人口の将来展望「2060（令和 42）年に約 55 万７千人」を踏まえ、本ビジョンに基づく取組による相乗効果により、「2060（令和 42）年時点で、高知県人口の将来展望（約 55 万７千人）を上回る」ことを、将来人口の目標とする。

また、21 市町村で構成する連携中枢都市圏の将来人口は、各市町村における人口の将来展望を合算した、2060（令和 42）年時点の人口約 47 万７千人を上回ることを目標とする。

４　圏域づくりの基本方針

高知県全域を圏域とする「れんけいこうち広域都市圏」では、圏域市町村を包括する広域的自治体である高知県の“広域行政”とベクトルを合わせ、政策面での役割分担や相互連携などにより行政の効率化を図りながら、連携協約に基づく「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」及び「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の３つの分野において、それぞれの地域の特性を最大限に生かした多様な“広域連携”を展開する。

第２期ビジョンの推進にあたっては、次の事項を念頭に置き取り組むこととする。

☞ コロナ危機を乗り越えるとともに、コロナ危機がもたらした人々の暮らしや働き方に対する意識と行動の変化を好機と捉え、それらが生み出す新しい時代の流れを圏域の成長へとつなげること。

☞ 人口構造や行政需要に関する長期的な変化に伴い、今後想定される様々な資源制約に備えるため、社会全体のデジタル化を推進するとともに、これからの社会環境の変化の中にも機会を見いだし、保有する資源の再構成などにより、行政自らが変革を起こし、適応能力を高めていくこと。

☞ ＳＤＧｓ(※)の考え方を取り入れ、圏域が抱える個々の課題を経済・社会・環境の三側面から捉え、課題解決に向けた事業の効果を高めるとともに、住民の一体感を醸成し、組織や地域の枠を越えて多様な主体が連携し合うネットワーク型社会の構築を目指すこと。

（※）ＳＤＧｓとは（参考）

ＳＤＧｓ(Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略)とは、2015(平成27)年９月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2016(平成28)年から2030(令和12)年までの国際目標である。

持続可能な世界を実現するための17のゴールと、それを実現するための169のターゲット(達成目標)で構成されており、地球上の「誰一人取り残さない」と誓い、包摂的な社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むこととしている。

【各分野における基本方針】

（1）圏域全体の経済成長のけん引

中小企業等の業績向上が、雇用の拡大や所得の上昇につながり、更なる消費の増加をもたらす「経済の好循環」を創出するとともに、圏域外から経営資源となるヒト・モノ・カネ・データを呼び込み、圏域全体の経済基盤を強化することなどにより、自律的かつ持続的に経済成長し続ける圏域を目指す。

① 産業競争力の強化と地域産業の活性化

異業種交流等を通じた主体間ネットワークの形成や、データに基づく産業振興策の広域展開などにより、新たな産業・雇用の創出や、中小企業等における経営強化、事業拡大を促進するとともに、地域経済を支える人材の確保・育成や、空き店舗情報や創業支援情報の発信などにより、地域産業を活性化し、起業や事業承継が行われやすい環境を整備する。

② 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

市場調査やノウハウの横展開などにより、地場産品の高付加価値化や地域資源を活用した商品・サービス開発を促進するとともに、国内外での認知度向上と市場開拓に向けた販売戦略を強化し、生産地と消費地をつなぐ流通システムを維持・発展させることなどにより、地域資源を活用した事業の創出と拡大を図る。

③ 戦略的な観光施策の推進

豊かな自然や食、歴史、文化等の多彩な地域資源に新たなつながりを生み出し、個々の魅力を相乗的に高めることなどにより、周遊観光を促進し、消費拡大を図るとともに、インバウンド観光の推進や旅行者ニーズ・スタイルに応じた観光ルートの提案、効果的なプロモーションなどにより更なる誘客を図る。

（2）高次の都市機能の集積・強化

圏域の中心となる高知市等に集積された医療や教育などの高次の都市機能の強化を図るとともに、それらの機能を利用しやすい環境の整備などにより、どこに住んでも心豊かに安心して暮らせる圏域を目指す。

① 高度な医療サービスの提供

高度な医療サービス提供の中心的な役割を担い、地域医療機関との連携により地域医療レベルの向上に取り組む施設等の活動に対する支援を行い、高度医療提供体制や災害時医療提供体制、救急医療等の拠点機能の充実・強化を図る。

② 中心拠点の機能強化

圏域の中心拠点となる教育・文化施設などの機能強化を図り、あらゆる世代に学習・体験機会を提供し、住民一人ひとりの学びを充実させながら、様々な場面で活躍できる人材を育成する。

(3)圏域全体の生活関連機能サービスの向上

地域の担い手となる人材を確保・育成し、地域内や地域間の結び付きを深めながら、地域を活性化するとともに、職員の能力向上等により行政運営の基盤強化を図り、住民の満足度が高い行政サービスを提供することなどにより、誰もが幸せを実感できる圏域を目指す。

① 暮らしの質を高める生活関連機能の強化

人生 100 年時代の本格的な到来に伴い多様化する医療・介護・福祉・教育などに対する住民ニーズに応えられる環境づくりや、暮らしの豊かさを広げる芸術文化活動や生涯学習の機会の充実などにより、住民の暮らしの質の向上を図る。

② 圏域の課題解決力を高める地域活性化

地域資源の開発・活用等を通じて地域の魅力を高め、新しい人の流れを創出するとともに、地域づくりの基盤となる人材を確保しながら、多様な主体が市町村の枠を越えて地域活動に参画できる環境づくりや、交流から定着へとつながる人づくりを促進することなどにより、圏域全体の活性化を図る。

③ 災害に強い圏域づくりの推進

大規模災害の発生を想定し、防災・減災に対応するための連携・協力体制を整えるとともに、住民一人ひとりによる防災への備えを支援することなどにより、圏域全体の防災力の向上を図る。

④ 圏域マネジメント能力の強化

市町村間での知見・ノウハウ・経験の共有や、専門性を有する外部人材の共同活用を推進するとともに、合同研修等を通じて職員の政策立案・遂行能力を高めることなどにより、行政運営の効率化や行政サービスの向上を図る。

５　成果指標（ＫＰＩ）

圏域の将来像の実現と目標人口の達成に向け、以下のとおり各分野に成果指標（ＫＰＩ）を設定し、進捗管理を行う。

（1）圏域全体の経済成長のけん引

指標	基準値　※	目標値(2027(R9))　※
製造品出荷額等	6,015 億円 5,263 億円	7,150 億円以上 6,256 億円以上
県外観光客人泊数	426.6 万人泊 320 万人泊	563.9 万人泊以上 422.9 万人泊以上
観光総消費額	966 億円 725 億円	1,389 億円以上 1,042 億円以上
県外からの移住者数	1,730 人 938 人	3,000 人以上 1,627 人以上

※基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。
※基準値については、「製造品出荷額等」は令和3年、「県外観光客人泊数」及び「観光総消費額」は令和4年、「県外からの移住者数」は令和4年度の実績値。

（2）高次の都市機能の集積・強化

指標	基準値(2021(R3))	目標値(2027(R9))
高知赤十字病院のドクターヘリ搬入患者数（受入のみ）	43 人 36 人	150 人以上 124 人以上
高知みらい科学館入館者数	116,418 人 96,254 人	200,000 人以上 165,359 人以上

※基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

（3）圏域全体の生活関連機能サービスの向上

指標	基準値　※	目標値(2027(R9))
自主防災組織の組織率	97.1% 96.5%	100% 100%
圏域人口の社会増減数	▲864 人 ▲447 人	±0 人以上 ±0 人以上

※基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。
※基準値については、「自主防災組織の組織率」は令和３年度、「圏域人口の社会増減数」は令和３年 10 月１日から令和４年９月 30 日までの実績値。

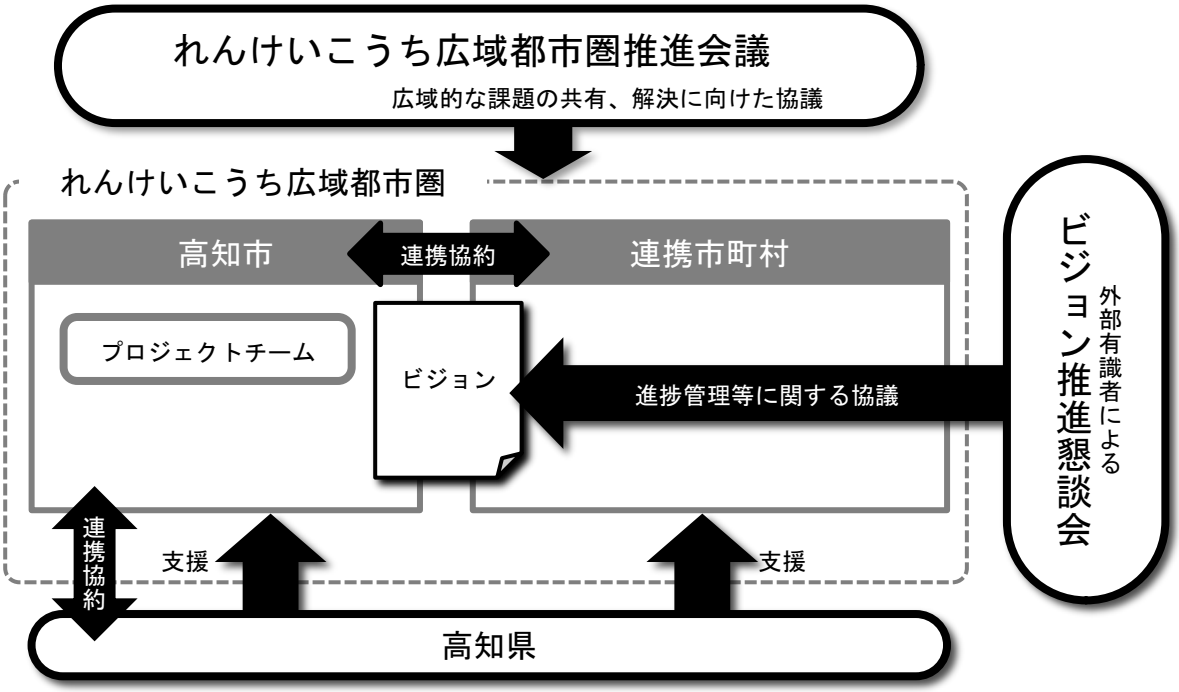
６　ビジョンの推進体制

ビジョンの推進にあたっては、圏域市町村長及び高知県知事で構成する「れんけいこうち広域都市圏推進会議」で広域的な課題の共有、解決に向けた協議を行うとともに、産学金官民の外部有識者で構成する「れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会」においてビジョンの進捗管理等に関する協議を行う。

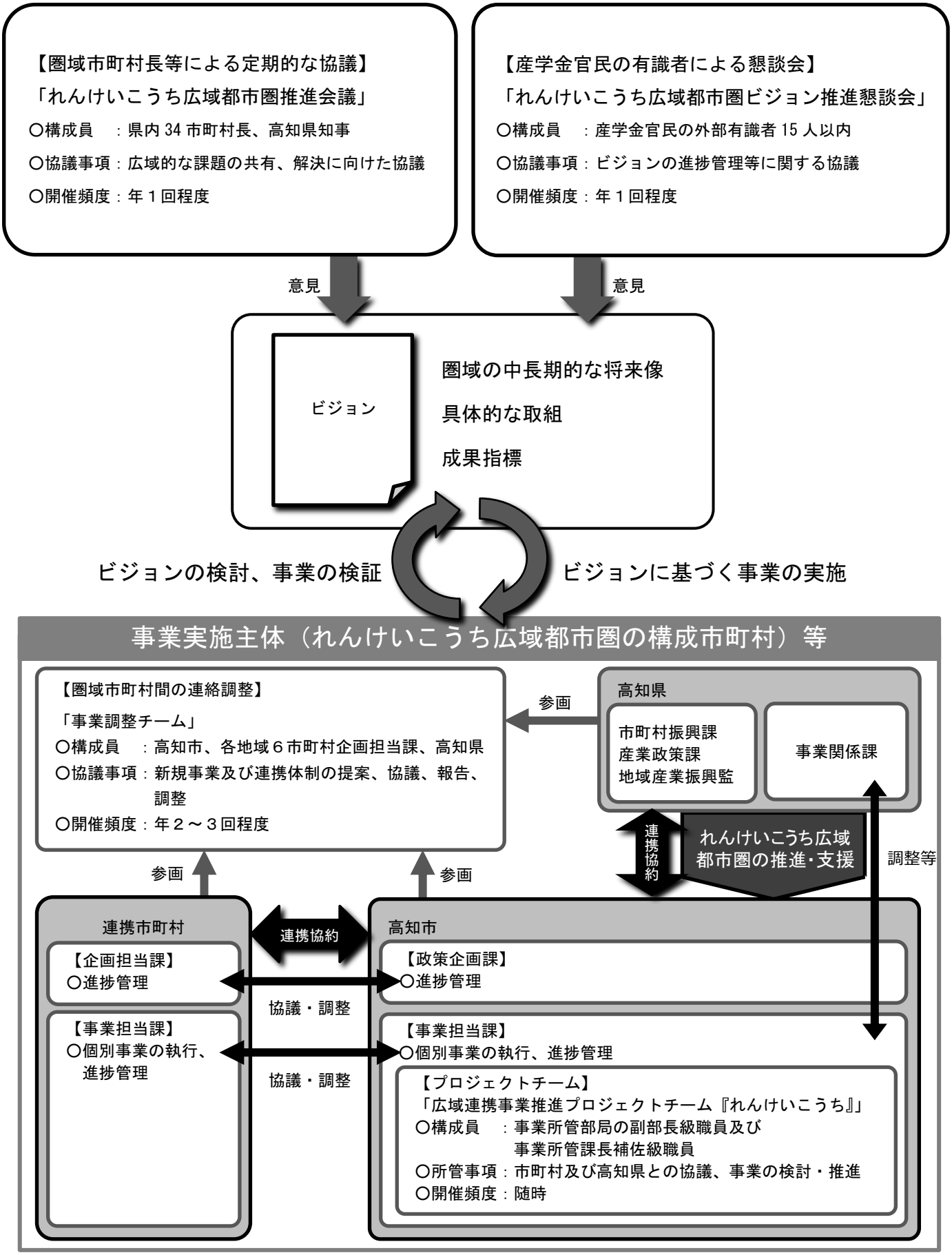
また、高知市及び圏域内各地域から毎年度選出する市町村、並びに高知県で構成する「事業調整チーム」と高知市職員で構成する広域連携事業推進プロジェクトチーム「れんけいこうち」で連携事業や連携体制に関する報告、提案、協議、調整等を行い、圏域の市町村が常に情報共有を図りながら相互の協力体制を確保しつつ、各連携事業に取り組む。

さらに、高知県による、連携中枢都市圏以外の市町村に対する交付金制度や、市町村間の調整、連携事業と相乗効果を発揮する事業の実施等の支援により、円滑で効果的な連携事業の推進を目指す。

【組織の役割分担】



【推進体制のイメージ】


【圏域市町村長等による定期的な協議】
「れんけいこうち広域都市圏推進会議」
○構成員　：県内 34 市町村長、高知県知事
○協議事項：広域的な課題の共有、解決に向けた協議
○開催頻度：年１回程度
【産学金官民の有識者による懇談会】
「れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会」
○構成員　：産学金官民の外部有識者 15 人以内
○協議事項：ビジョンの進捗管理等に関する協議
○開催頻度：年１回程度
意見
意見
ビジョン
圏域の中長期的な将来像
具体的な取組
成果指標
ビジョンの検討、事業の検証
ビジョンに基づく事業の実施
事業実施主体（れんけいこうち広域都市圏の構成市町村）等
【圏域市町村間の連絡調整】
「事業調整チーム」
○構成員　：高知市、各地域６市町村企画担当課、高知県
○協議事項：新規事業及び連携体制の提案、協議、報告、調整
○開催頻度：年２～３回程度
参画
高知県
市町村振興課
産業政策課
地域産業振興監
事業関係課
連携協約
れんけいこうち広域都市圏の推進・支援
調整等
参画
参画
連携市町村
【企画担当課】
○進捗管理
【事業担当課】
○個別事業の執行、進捗管理
連携協約
協議・調整
協議・調整
高知市
【政策企画課】
○進捗管理
【事業担当課】
○個別事業の執行、進捗管理
【プロジェクトチーム】
「広域連携事業推進プロジェクトチーム『れんけいこうち』」
○構成員　：事業所管部局の副部長級職員及び事業所管課長補佐級職員
○所管事項：市町村及び高知県との協議、事業の検討・推進
○開催頻度：随時

Ⅳ　将来像の実現に向けた具体的な取組

第２期ビジョンで推進する具体的な取組一覧

連携分野	基本方針	具体的な取組名	掲載ページ
（１）圏域全体の経済成長のけん引	①	れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進事業	50
		統計データ活用事業	51
		空き店舗等情報発信事業	52
		二段階移住推進事業	53
	②	日曜市出店事業	54
		地場産品販路拡大推進事業	55
		圏域事業者販売等支援事業	56
		伝統産業推進事業	57
	③	大型船舶寄港誘致・誘客促進事業	58
		広域観光推進事業	59
		インバウンド観光推進事業	60
（２）高次の都市機能の集積・強化	①	高知赤十字病院支援事業	61
	②	高知みらい科学館機能強化事業	62
（３）圏域全体の生活関連機能サービスの向上	①	生涯学習推進事業	63
	②	体験型地域資源開発・活用事業	64
		ＳＤＧｓ推進事業	65
	③	防災リーダー育成事業	66
	④	職員交流事業	67

※いずれの事業についても、全圏域市町村で取り組む。

※基本方針は、44～45 ページの【各分野における基本方針】に対応。

具体的な取組

＜連携協約分野 1-(1)※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="4">れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td>全てのゴールに対応</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">産学金官民の外部有識者で構成する「れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会」、圏域市町村長及び高知県知事で構成する「れんけいこうち広域都市圏推進会議」等を開催・運営し、ビジョンの進捗管理や広域的な課題の共有、解決に向けた協議を行うとともに、取組・成果の検証やビジョンの見直しを適宜実施する。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="6">・ビジョンの適切な進捗管理
・連携事業の充実・強化
・圏域の活性化
・効率的な情報共有・情報発信</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td>計</td></tr>
<tr><td>439</td><td>553</td><td>403</td><td>195</td><td>195</td><td>1,785</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="5">・懇談会及び推進会議の開催・運営
・懇談会及び推進会議で出された意見の集約・総合調整
・市町村間での協議、情報交換のための各種会議の開催
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="5">・懇談会及び推進会議への参加
・市町村間での協議、情報交換のための各種会議への参加
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td rowspan="3">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="2">指標</td><td colspan="2">基準値(第１期平均)</td><td colspan="2">目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="2">懇談会開催数</td><td colspan="2">２回
２回</td><td colspan="2">１回
１回</td></tr>
<tr><td colspan="2">推進会議開催数</td><td colspan="2">１回
１回</td><td colspan="2">１回
１回</td></tr>
</table>

※1　連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。

※2　重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

＜連携協約分野 1-(1)※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="5">統計データ活用事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td> </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="7">圏域市町村職員を対象とする研修会等を通じて、統計データ活用の重要性を共有するとともに、統計データの活用に必要となる社会経済動向に関する理解を深めることにより人材育成を図る。
また、他の連携事業が収集するデータ等を題材として活用することで、連携事業のブラッシュアップにつなげながら、より実践的なデータ分析・政策立案能力を高め、ＥＢＰＭを推進する。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="7">・職員のデータ活用能力の向上
・データに基づく施策の立案・評価
・市町村連携による効果的な施策の立案</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td colspan="2">計</td></tr>
<tr><td>539</td><td>558</td><td>631</td><td>163</td><td>163</td><td colspan="2">2,054</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="6">・研修会の開催
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="6">・研修会への参加
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td rowspan="2">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="3">指標</td><td colspan="2">基準値(2018(H30))</td><td colspan="2">目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="3">研修参加者数</td><td colspan="2">136 人
90 人</td><td colspan="2">150 人
100 人</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。

※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

＜連携協約分野 1-(5) ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="4">空き店舗等情報発信事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td> </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">空き店舗情報及び創業支援情報等を集約し、一元的に情報発信することで、圏域内の空き店舗の解消及び地域の活性化を図る。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="6">・圏域の空き店舗情報及び創業支援情報等の一元化による新規出店の推進</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td>計</td></tr>
<tr><td>374</td><td>385</td><td>451</td><td>447</td><td>447</td><td>2,104</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="5">・連携市町村の空き店舗情報、創業支援メニュー、チャレンジショップ事業等の情報集約及び発信
・ウェブサイトの運用
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="5">・空き店舗情報、創業支援メニュー、チャレンジショップ事業等の情報収集及び提供
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td rowspan="2">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="2">指標</td><td colspan="2">基準値(2021(R3))</td><td colspan="2">目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="2">ウェブサイト閲覧数※3</td><td colspan="2">57,392 ビュー
57,392 ビュー</td><td colspan="2">62,400 ビュー
62,400 ビュー</td></tr>
</table>

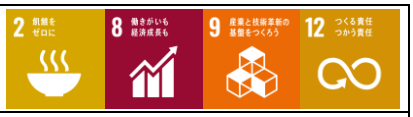
※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。
※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。
※3 「こうち創業 Village」(https://www.city.kochi.kochi.jp/deeps/kochi-sogyo-village/)が対象。

＜連携協約分野 1-(5) ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="5">二段階移住推進事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td colspan="2"> </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="8">大都市圏などの潜在的な移住希望者を対象に、高知市を拠点とした二段階移住をＰＲするとともに、一段階目となる高知市へのお試し移住補助や連携市町村を巡るレンタカー補助等を行う。また、圏域市町村が連携した市町村情報の発信や移住に係るイベントの開催、二段階目の移住支援等を行うことで、圏域全体への移住・定住の促進を図る。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="8">・新たな移住ターゲットの掘り起こし
・圏域市町村における移住者の増加及び定住促進
・県外からの新しい人の流れの創出</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td colspan="3">計</td></tr>
<tr><td>30,440</td><td>25,844</td><td>26,118</td><td>21,034</td><td>21,034</td><td colspan="3">124,470</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="7">・一段階目移住者の情報共有
・二段階移住に関するプロモーションの実施
・一段階目の受け皿となるお試し滞在施設の運営
・パンフレット等による市町村の紹介や市町村窓口への案内・引き継ぎ
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="7">・市町村情報の発信
・二段階移住に関するプロモーションの実施
・高知市内を拠点とする二段階移住希望者に対する移住相談及び支援
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td rowspan="4">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="4">指標</td><td colspan="2">基準値※3</td><td colspan="2">目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="4">二段階移住新規相談件数</td><td colspan="2">108 件
108 件</td><td colspan="2">108 件
108 件</td></tr>
<tr><td colspan="4">二段階移住パスポート発行部数</td><td colspan="2">58 部
58 部</td><td colspan="2">58 部
58 部</td></tr>
<tr><td colspan="4">二段階移住組数</td><td colspan="2">７組
５組</td><td colspan="2">７組
７組</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。
※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。
※3 基準値は、「二段階移住新規相談件数」及び「二段階移住組数」は令和元年度実績値、「二段階移住パスポート発行部数」は令和3年度実績値。

＜連携協約分野 1-(3) ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="5">日曜市出店事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td colspan="2">  </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="8">日曜市に連携市町村の出店スペース（れんけい小間）を設け、各市町村が輪番制で観光ＰＲなどの情報発信や農産物・加工品等特産品の販売等を行う。
また、出店市町村と連携し、れんけい小間をＰＲするイベント等を行うことで、圏域事業者の販路拡大、日曜市のにぎわい創出を図る。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="8">・出店事業者及び連携市町村の認知度向上
・事業者の売上向上、顧客増加
・交流人口の拡大
・日曜市のにぎわい創出、魅力向上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td colspan="3">計</td></tr>
<tr><td>12,894</td><td>13,055</td><td>12,921</td><td>15,353</td><td>15,353</td><td colspan="3">69,576</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="7">・日曜市の安全管理、備品管理、出店場所確保等の運営全般
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="7">・出店者の確保
・市町村ＰＲ素材や商品等の準備
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td rowspan="4">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="3">指標</td><td colspan="3">基準値(2021(R3))</td><td colspan="2">目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="3">「れんけい小間」延べ開設数</td><td colspan="3">130 回
60 回</td><td colspan="2">300 回
140 回</td></tr>
<tr><td colspan="3">「れんけい小間」来客数</td><td colspan="3">3,590 人
2,080 人</td><td colspan="2">21,000 人
12,200 人</td></tr>
<tr><td colspan="3">「れんけい小間」販売額</td><td colspan="3">－
－</td><td colspan="2">8,000 千円
3,700 千円</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。

※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

＜連携協約分野 1-(3) ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="5">地場産品販路拡大推進事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td> </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="7">バイヤーの多様なニーズに圏域で連携して対応できるよう販路拡大に関する圏域市町村間のネットワークを活用する。
また、高知市が主催・出展する見本市等に圏域事業者で出展することで、スケールメリットによる販路開拓等の機会の創出を図る。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="7">・県内地場産品の販路拡大
・ＰＲ効果による市町村知名度向上
・生産者及び事業者の収益向上、雇用機会・ 個人所得増加、設備投資増加
・バイヤーの求める品目や数量などに幅広く対応できるようになり、担当窓口として信頼度が増し、販路拡大につながりやすくなる。
・見本市等に出展することで、連携して商談やＰＲに臨めるほか、ブースを大きく設置でき、会場での存在感が増し、出展効果の向上が期待される。
・一貫したプロモーションによる、圏域のＰＲ効果</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td colspan="2">計</td></tr>
<tr><td>52,827</td><td>52,354</td><td>81,076</td><td>34,849</td><td>34,849</td><td colspan="2">255,955</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="6">・市町村との連携による商談
・見本市等の情報提供や共同出展に向けた調整
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="6">・高知市及び他市町村との連携による商談
・事業者への見本市等の情報提供
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="2">指標</td><td>基準値※3</td><td>目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="2">見本市等の商談成立件数</td><td>100 件
100 件</td><td>100 件
100 件</td></tr>
<tr><td colspan="2">見本市等の成約金額</td><td>17,000 千円
17,000 千円</td><td>17,000 千円
17,000 千円</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。
※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。
※3 基準値は、令和7年度実績値。

＜連携協約分野 1-(3) ※1＞

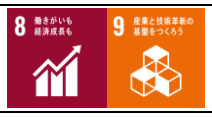
<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="5">圏域事業者販売等支援事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td> </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="7">県内最大消費地である高知市において、地場産品と地域を関連付けた市町村ＰＲイベント等を実施することで、地域の実店舗や道の駅等の販売拠点への周遊促進を図る。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="7">①地場産品の知名度向上
②地場産品の販売拡大
③地場産品の商品力向上
④地元事業者の成長
⑤圏域市町村への周遊促進</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td colspan="2">計</td></tr>
<tr><td>33,377</td><td>21,774</td><td>19,659</td><td>14,319</td><td>14,319</td><td colspan="2">103,448</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="6">・地場産品の展示・販売の場の確保
・地場産品の情報収集
・地域情報、地場産品の情報発信
・ＰＲイベントの実施
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="6">・地場産品の情報収集
・地域情報、地場産品の情報発信
・ＰＲイベントの実施
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td>指標</td><td>基準値</td><td>目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td>ＰＲイベントの販売額</td><td>－
－</td><td>8,300 千円
8,300 千円</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。

※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

＜連携協約分野 1-(3) ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="5">伝統産業推進事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td>  </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="7">伝統産業の強みを生かしたブランド力・知名度の向上、販路拡大に向けた支援を行うことにより伝統産業の振興を図る。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="7">・事業者の売上向上
・伝統的産品に関する雇用の場の創出・労働力人口の流出防止</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td colspan="2">計</td></tr>
<tr><td>2,326</td><td>5,685</td><td>3,909</td><td>2,565</td><td>2,565</td><td colspan="2">17,050</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="6">・伝統的産品の販路拡大・後継者育成に対する支援
・首都圏等での展示会への共同出展
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="6">・伝統的産品の販路拡大、後継者育成に対する支援
・首都圏等での展示会に向けた事業者の確保
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td rowspan="3">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="3">指標</td><td colspan="2">基準値※3</td><td colspan="2">目標値(2027(R9))※4</td></tr>
<tr><td colspan="3">パンフレット配布部数</td><td colspan="2">1,250 部
1,250 部</td><td colspan="2">－
－</td></tr>
<tr><td colspan="3">ウェブサイト閲覧数※5</td><td colspan="2">82,000 ビュー
82,000 ビュー</td><td colspan="2">82,000 ビュー
82,000 ビュー</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。
※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。
※3 基準値は、「パンフレット配布部数」は令和8年4月1日時点の保有部数、「ウェブサイト閲覧数」は令和6年度と令和7年度の実績値平均。
※4 「パンフレット配布部数」は、令和8年度中に保有している部数を配布後、増刷しないため、目標値を設定しない。
※5 「土佐の手づくり工芸品」(https://www.city.kochi.kochi.jp/site/tosa-kogei/)が対象。

＜連携協約分野 1-(4) ※1＞

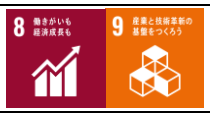
<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="5">大型船舶寄港誘致・誘客促進事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td></td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="7">高知新港への大型客船等の誘致を進めるとともに、連携市町村の新たな観光資源の掘り起こしや磨き上げにより受入態勢を整備し、高知新港に大型客船等が寄港する際に、連携市町村への無料バス運行や圏域市町村のＰＲイベント実施により、乗船客等の圏域での周遊促進や、連携市町村の知名度向上及びリピーターの増加、地場産品の販路拡大等による地域経済の活性化及び観光振興、高知新港の寄港地としての魅力向上を図る。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="7">・高知新港の寄港地としての魅力向上及び大型船舶寄港回数の増加
・乗船客等の圏域での周遊促進
・観光客及び観光消費額の増加</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td colspan="2">計</td></tr>
<tr><td>48,297</td><td>57,365</td><td>89,281</td><td>88,437</td><td>88,437</td><td colspan="2">371,817</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="6">・高知県との連携による大型客船等の寄港誘致
・無料バスの手配・運行
・ＰＲイベントの共同実施
・観光資源の磨き上げ・受入態勢整備
・事業実施に係る費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="6">・日帰り観光ルートの検討・設定
・ＰＲイベントの共同実施
・観光資源の磨き上げ・受入態勢整備
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td rowspan="3">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="3">指標</td><td colspan="2">基準値※3</td><td colspan="2">目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="3">ＰＲイベント等の販売額</td><td colspan="2">6,400 千円
6,400 千円</td><td colspan="2">6,400 千円
6,400 千円</td></tr>
<tr><td colspan="3">ＰＲイベント等の参加事業者数</td><td colspan="2">35 事業者
35 事業者</td><td colspan="2">35 事業者
35 事業者</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。

※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

※3「PRイベント等の販売額」の基準値は、令和7年度に開催したイベント(令和7年度おきゃく横丁　土佐の市)の全体販売額の実績値参考。「PRイベント等の参加事業者数」の基準値は、令和7年度のイベント開催地と同じ大旺新洋おまち多目的広場(おまち多目的広場)を使用した場合の事業者数を想定。

＜連携協約分野 1-(4) ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="4">広域観光推進事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td>  </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">デジタルを活用したプロモーションの実施等により、多様化する観光客のニーズに合わせた効果的な広域観光の推進を図る。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="6">・エリアの強みを生かした効果的な観光ＰＲ
・観光客及び観光消費額の増加</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td>計</td></tr>
<tr><td>4,801</td><td>6,710</td><td>7,481</td><td>4,861</td><td>4,861</td><td>28,714</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="5">・観光プロモーション業務委託、委託先との調整
・観光プロモーションの実施
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="5">・各エリアを単位としたプロモーション内容の企画・検討
・観光プロモーションの実施
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td rowspan="2">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="2">指標</td><td colspan="2">基準値※3</td><td colspan="2">目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ルート検索」クリック回数※4</td><td colspan="2">409 回
409 回</td><td colspan="2">800 回
800 回</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。
※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。
※3 「ルート検索」クリック回数の基準値は、令和7年度実績。
※4 「高知トラベルコンパス」(https://kochi-travelmap.jp/)における各観光スポットの「ルート検索」が対象。

＜連携協約分野 1-(4) ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="4">インバウンド観光推進事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td></td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">外国語対応可能な高知市中心商店街内の観光案内所を拠点に、専任スタッフによる観光案内及び連携市町村と連携した観光ＰＲ等を行い、外国人観光客の圏域内周遊促進を図る。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="6">・外国人観光客の圏域での周遊促進
・外国人観光客及び観光消費額の増加
・外国人観光客の満足度及び回遊性の向上
・インバウンド観光の推進</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td>計</td></tr>
<tr><td>29,902</td><td>27,941</td><td>30,218</td><td>28,265</td><td>28,265</td><td>144,591</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="5">・高知市中心商店街の常設観光案内所の運営、誘客促進
・デジタルコンテンツを活用した外国人向けの観光情報発信
・外国語観光案内システムの運用
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="5">・高知市中心商店街の常設観光案内所内でのＰＲイベントの実施
・パンフレットの提供や観光資源に関する情報提供
・観光資源等に関する情報提供
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
</table>

重要業績評価指標（ＫＰＩ）※2	指標	基準値(2019(R元))	目標値(2027(R9))
	観光案内所の外国人利用者数	3,568 人 3,568 人	6,450 人 6,450 人

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。
※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

＜連携協約分野 2-(1) ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="4">高知赤十字病院支援事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td> </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">高知赤十字病院の津波長期浸水エリア外への移転を支援し、救急医療等の拠点機能を確保するとともに、南海トラフ地震発生時の圏域内の災害拠点病院としての機能を確保し、圏域全体が平時・災害時を問わず必要な医療サービスを享受できる環境の整備を図る。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="6">・平時の救急・高度医療提供体制確保
・災害時の医療提供体制確保</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td>計</td></tr>
<tr><td>41,311</td><td>41,291</td><td>41,287</td><td>41,283</td><td>41,283</td><td>206,455</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="5">・高知赤十字病院の移転に要する経費を高知県と協調して支援
・圏域市町村への助産師派遣の調整
・高知赤十字病院等を核とした更なる連携方法の検討
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="5">・高知赤十字病院等を核とした更なる連携方法の検討</td></tr>
<tr><td rowspan="2">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="2">指標</td><td colspan="2">基準値(2019(R 元))</td><td colspan="2">目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="2">高知赤十字病院から圏域内
への助産師等派遣回数</td><td colspan="2">12 回
12 回</td><td colspan="2">36 回
36 回</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。

※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

＜連携協約分野 2-(4) ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="4">高知みらい科学館機能強化事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td> </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">次代を担う創造性豊かな人材を育成するため、圏域の中心拠点の一つである「高知みらい科学館」の機能を強化し、圏域の小中学校等を対象とした理科学習や出前教室、圏域住民を対象とした科学体験の機会の提供により、圏域の児童・生徒等の科学に対する興味・関心を高めるとともに、科学的な見方や考え方を養う。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="6">・圏域住民の高次の学習・体験機会の確保
・圏域における理科教育振興、科学文化振興</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td>計</td></tr>
<tr><td>7,419</td><td>7,742</td><td>10,826</td><td>9,936</td><td>9,936</td><td>45,859</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="5">・学校等への科学館活用機会の提供
・理科学習等に必要な設備・備品の調達・維持管理
・事業実施に係る費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="5">・学校等への理科学習・出前教室等の周知
・理科学習等に係る学校等との調整
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td rowspan="4">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="2">指標</td><td colspan="2">基準値(2022(R4))</td><td colspan="2">目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="2">理科学習の満足度（学校）</td><td colspan="2">－
－</td><td colspan="2">95%
95%</td></tr>
<tr><td colspan="2">出前教室の満足度（学校）</td><td colspan="2">－
－</td><td colspan="2">95%
95%</td></tr>
<tr><td colspan="2">モバイルミュージアム実施施設数</td><td colspan="2">23 施設
15 施設</td><td colspan="2">30 施設
20 施設</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。

※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

＜連携協約分野 3-(1)-ｴ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="5">生涯学習推進事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td colspan="2"> </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="8">社会教育や文化活動、スポーツ活動等、生涯に行うあらゆる学習（生涯学習）に対する圏域住民のニーズを把握し、生涯学習の場を創出・拡充することで、生涯学習の質と量の向上を図り、圏域住民の生きがいづくりや学びを生かした生涯活躍できる人づくりにつなげる。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="8">・圏域住民の生涯学習機会の拡充
・圏域住民の生きがいの創出</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td colspan="3">計</td></tr>
<tr><td>180</td><td>4,822</td><td>943</td><td>19</td><td>19</td><td colspan="3">5,983</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="7">・生涯学習に対する意識調査の実施・分析
・意識調査の分析結果に基づく生涯学習の場の創出・拡充
・既存の生涯学習に関する情報共有
・広域学習の開催
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="7">・生涯学習に対する意識調査の実施・分析
・意識調査の分析結果に基づく生涯学習の場の創出・拡充
・既存の生涯学習に関する情報共有
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
</table>

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	指標	基準値	目標値(2027(R9))
	トライアル事業参加者の満足度	ー ー	80% 80%

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。
※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

＜連携協約分野 3-(1)-カ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="5">体験型地域資源開発・活用事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td colspan="2"> </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="8">地域資源（自然・文化・食・産業や、事業者・住民の技術等）をコンテンツ化する方法を地域住民が習得・実践する機会（セミナーやワークショップ等）の提供及び体験型イベント等の実施により、地域振興及び交流人口拡大を図る。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="8">・地域資源のコンテンツ化に係るノウハウの習得
・交流人口の拡大
・圏域住民の収入源や生きがいの創出</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td colspan="3">計</td></tr>
<tr><td>19,709</td><td>15,344</td><td>17,024</td><td>15,470</td><td>15,470</td><td colspan="3">83,017</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="7">・事業全体のＰＲ
・体験型イベントのＰＲ</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="7">・地域資源開発（セミナー・ワークショップ等）
・体験型イベントの実施、ＰＲ
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td rowspan="3">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="3">指標</td><td colspan="3">基準値(2021(R3))</td><td colspan="2">目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="3">イベント実施エリア外からの参加割合</td><td colspan="3">70.4%
70.4%</td><td colspan="2">77%
77%</td></tr>
<tr><td colspan="3">イベント終了後も継続して実施されている体験型プログラムの割合</td><td colspan="3">－
－</td><td colspan="2">50%
50%</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。

※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

＜連携協約分野 3-(2)-ｶ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="4">ＳＤＧｓ推進事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td>全てのゴールに対応</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">圏域市町村職員及び圏域住民を対象とした研修・イベント等を開催することで、ＳＤＧｓに対する認知や理解を深め、更なるＳＤＧｓの推進を目指す。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="6">・圏域全体でのＳＤＧｓの推進
・地域の担い手の確保・育成
・地域の活性化
・関係人口の創出</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td>計</td></tr>
<tr><td>2,162</td><td>1,034</td><td>454</td><td>107</td><td>107</td><td>3,864</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="5">・市町村職員向けの研修開催
・圏域住民向けのイベント等の開催
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="5">・市町村職員向けの研修周知・参加
・圏域住民向けのイベント等の開催又は開催支援
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td rowspan="2">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="2">指標</td><td colspan="2">基準値※3</td><td colspan="2">目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="2">ＳＤＧｓイベント来場者数</td><td colspan="2">200 人
200 人</td><td colspan="2">200 人
200 人</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。
※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。
※3 「SDGsイベント来場者数」の基準値は、令和7年度実績値。

＜連携協約分野 3-(1)-キ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="5">防災リーダー育成事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td colspan="2"> </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="8">防災の各専門分野の講師を招いた講座を、メイン会場である高知市会場のほか、連携市町村のサテライト会場で開催することで、地域で防災活動に取り組む防災リーダー「災害に強い人」を育成し、圏域全体の防災力向上を図る。
また、高知市会場の講座修了者を対象に防災士資格取得を支援するとともに、修了者及び資格取得者が地域で実際に活動するためのアフターフォローを行うことで、圏域住民の更なる自主防災意識の向上を図る。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="8">・圏域で防災知識を持つ人材が増加することによる市町村の防災力向上及び災害時の被害軽減並びに早期復興</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td colspan="3">計</td></tr>
<tr><td>4,642</td><td>4,310</td><td>4,053</td><td>3,157</td><td>3,157</td><td colspan="3">19,319</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="7">・防災人づくり塾の開催・運営
・防災士資格取得への支援
・修了者及び防災士資格取得者の情報を連携市町村へ提供
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="7">・防災人づくり塾の市町村住民への周知・開催協力
・修了者及び防災士資格取得者が地域で活動するための支援
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td rowspan="2">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="2">指標</td><td colspan="3">基準値(2021(R3))</td><td colspan="3">目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="2">防災人づくり塾修了者数</td><td colspan="3">132 人
132 人</td><td colspan="3">150 人
150 人</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。

※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

＜連携協約分野 3-(3)-ｳ※1＞

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="5">職員交流事業</td><td>ＳＤＧｓ</td><td colspan="2"> </td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="8">連携市町村から高知市への派遣職員の受入及び交流派遣を行い、多様な行政案件を処理することで派遣職員の能力向上を図るとともに、高知市職員研修への参加機会の提供等により圏域市町村職員の能力向上を図る。
また、共通した行政課題について、圏域市町村間で情報交換を行うほか、相互連携が可能な事業については共同して事業を実施する。</td></tr>
<tr><td>効　　果</td><td colspan="8">・職員の専門的能力向上
・法改正等に伴う制度変更への迅速な対応</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>2023(R5)</td><td>2024(R6)</td><td>2025(R7)</td><td>2026(R8)</td><td>2027(R9)</td><td colspan="3">計</td></tr>
<tr><td>2,271</td><td>2,320</td><td>2,710</td><td>2,028</td><td>2,028</td><td colspan="3">11,357</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担
費用負担等</td><td>高知市</td><td colspan="7">・職員の派遣・受入の調整
・研修開催についての情報提供、参加者の調整
・共同事業の実施、情報交換
・事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td>連携市町村</td><td colspan="7">・職員の派遣・受入の調整
・研修への参加
・共同事業の実施、情報交換
・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担</td></tr>
<tr><td rowspan="4">重要業績
評価指標
（ＫＰＩ）※2</td><td colspan="2">指標</td><td colspan="3">基準値※3</td><td colspan="3">目標値(2027(R9))</td></tr>
<tr><td colspan="2">高知市への派遣職員数</td><td colspan="3">１人
１人</td><td colspan="3">６人
５人</td></tr>
<tr><td colspan="2">職員研修参加者数</td><td colspan="3">68 人
55 人</td><td colspan="3">77 人
62 人</td></tr>
<tr><td colspan="2">防災士資格取得者数</td><td colspan="3">15 人
14 人</td><td colspan="3">18 人
17 人</td></tr>
</table>

※1 連携協約で示す連携して取り組む分野一覧は 68 ページ参照。
※2 重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。
※3 基準値は、「高知市への派遣職員数」は令和3年度実績値、「職員研修参加者数」及び「防災士資格取得者数」は第1期実績の平均値。

連携協約で示す連携して取り組む分野一覧

１　圏域全体の経済成長のけん引

分野
(1)　産学金官民一体となった経済戦略の策定及び国の成長戦略実施のための体制整備
(2)　産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進及び地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成
(3)　地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
(4)　戦略的な観光施策
(5)　その他圏域全体の経済成長のけん引に係る施策

２　高次の都市機能の集積・強化

分野
(1)　高度な医療サービスの提供
(2)　高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築
(3)　高等教育・研究開発の環境整備
(4)　その他高次の都市機能の集積・強化に係る施策

３　圏域全体の生活関連機能サービスの向上

分野	
(1)　生活機能の強化に係る政策分野	ア　地域医療
	イ　介護
	ウ　福祉
	エ　教育・文化・スポーツ
	オ　土地利用
	カ　地域振興
	キ　災害対策
	ク　環境
(2)　結び付きやネットワークの強化に係る政策分野	ア　地域公共交通
	イ　ＩＣＴインフラ整備
	ウ　道路等の交通インフラの整備・維持
	エ　地域の生産者や消費者等の連携による地産地消
	オ　地域内外の住民との交流・移住促進
	カ　その他結び付きやネットワークの強化に係る連携
(3)　圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	ア　人材の育成
	イ　外部からの行政及び民間人材の確保
	ウ　圏域市町村の職員等の交流
	エ　その他圏域マネジメント能力の強化に係る連携

第２期れんけいこうち広域都市圏ビジョン

発行年月　2026（令和８）年９月
編集・発行　高知市政策企画部政策企画課
〒780-8571　高知市本町５丁目１－45
TEL：088-823-9407
FAX：088-823-9382
E-MAIL：kc-010900@city.kochi.lg.jp